

大人も子どもも
「再生可能エネルギー」を
楽しく学ぼう!



エネパガイド 2018

次世代エネルギーパーク 見学ガイド



経済産業省
資源エネルギー庁

見たいページにパッとジャンプ。 知りたい情報がすぐわかる。



画面をクリックしてだけで、目的のページが簡単に開けるリンクなど、「エネパガイド」がさらに便利で、快適にご利用いただけるようになりました。今度のエネパ見学の行き先は、ご家族みんなで楽しく選んでみませんか。

STEP 01

地方を選ぶ

まずはINDEXページで、
行ってみたい地方を
クリック!



STEP 02

見たいエネパを選ぶ

選んだ地方から、
気になるエネパを
クリック!



STEP 03

詳しい情報を見る

クリックすると
「全体計画書」を
見ることができます。

クリックすると
INDEXや各地方の
ページに戻れます。

クリックすると
各エネパのホームページを
見ることができます。



各エネパの特徴や見どころ、
「おすすめ見学コース」を
チェック!

各エネパへの
お問い合わせは
こちら



さあ、ページをめくって
あなたの行きたい
エネパを探しましょう!

出かける前に知っておきたい エネパの基礎知識

P03 「エネパ」って、どんなところ？

P04 行ってわかった!「エネパ」の魅力

P05 「エネパ」で未来はどう変わる？

P06 再生可能エネルギーの種類とは？

エネパは
日本全国になんと
63施設!

あなたのご近所は、どのエネパ？

次世代 エネルギーパーク紹介



行きたい地方を選んでクリック! (青色は平成28年度認定施設)

北海道地方

- P08 稚内市次世代エネルギーパーク
- P09 下川町次世代エネルギーパーク
- P10 滝川市次世代エネルギーパーク
- P11 札幌市次世代エネルギーパーク
- P12 伊達市次世代エネルギーパーク
- P13 芽室町次世代エネルギーパーク
- P14 足寄町次世代エネルギーパーク

東北地方

- P16 六ヶ所村次世代エネルギーパーク
- P17 のしろ次世代エネルギーパーク
- P18 男鹿市次世代エネルギーパーク
- P19 あきた次世代エネルギーパーク
- P20 にかほエネルギーパーク
- P21 もりおかエネルギーパーク
- P22 庄内町次世代エネルギーパーク
- P23 尾花沢市次世代エネルギーパーク
- P24 宮城県次世代エネルギーパーク
- P25 福島市次世代エネルギーパーク
- P26 福島県次世代エネルギーパーク

関東甲信越地方

- P28 新潟県次世代エネルギーパーク
- P29 太田市次世代エネルギーパーク
- P30 茨城県次世代エネルギーパーク
- P31 千葉県次世代エネルギーパーク

P32 CCかわさきエネルギーパーク

P33 あいかわ・つくい次世代エネルギーパーク

P34 山梨市次世代エネルギーパーク

P35 富士の国やまなし次世代エネルギーパーク

P36 北杜市次世代エネルギーパーク

P37 ふじのくにしずおか次世代エネルギーパーク

P38 静岡市次世代エネルギーパーク

P39 浜松市次世代ダイバーシティエネルギーパーク

中部地方

- P41 富山市次世代エネルギーパーク
- P42 かなざわ次世代エネルギーパーク
- P43 あいち新エネルギーパーク
- P44 三重県次世代エネルギーパーク

近畿地方

- P46 東近江市次世代エネルギーパーク
- P47 奈良県次世代エネルギーパーク
- P48 大阪ベイエリア・堺次世代エネルギーパーク
- P49 エネルギーパーク洲本
- P50 ありだがわ次世代エネルギーパーク
- P51 日高港新エネルギーパーク

中国地方

- P53 とっとり次世代エネルギーパーク
- P54 真庭市地産エネルギーパーク
- P55 出雲市次世代エネルギーパーク
- P56 福山市次世代エネルギーパーク

P57 北広島町次世代エネルギーパーク

P58 周南市次世代エネルギーパーク

P59 ときわ公園次世代エネルギーパーク

四国地方

- P61 土庄町次世代エネルギーパーク
- P62 阿南市次世代エネルギーパーク
- P63 とうおん次世代エネルギーパーク
- P64 まつやま次世代エネルギーパーク
- P65 えひめ次世代エネルギーパーク

九州地方

- P67 北九州次世代エネルギーパーク
- P68 大牟田市次世代エネルギーパーク
- P69 玄海町次世代エネルギーパーク
- P70 平戸市次世代エネルギーパーク
- P71 長崎次世代エネルギーパーク
- P72 大分県次世代エネルギーパーク
- P73 くまもと次世代エネルギーパーク
- P74 宮崎県次世代エネルギーパーク
- P75 いちき串木野次世代エネルギーパーク

沖縄地方

- P77 糸満市次世代エネルギーパーク
- P78 宮古島次世代エネルギーパーク

P79 お問い合わせ窓口/
グリーンパワープロジェクト

「再生可能エネルギー」を学びながら、
一日中、たっぷり遊べる！ 楽しめる！
それが「エネパ」です。

次世代エネルギーの「今」が学べる

地球と子どもたちの未来のために、環境を考えたエネルギーの開発が求められています。そんな次世代のエネルギーを研究開発するだけでなく、大人から子どもまで誰もが楽しく学べる施設が、次世代エネルギーパーク「エネパ」です。



最先端のテクノロジーが体験できる

「エネパ」は、再生可能エネルギーの発電施設や研究所が中心になっているから、最先端のテクノロジーを見て、触って、体感できます。普段は「エネルギーなんて難しいな」と思っている人でも、帰るときには、きっとエネルギー博士に。

自然のチカラを遊びながら体感できる

太陽、風、水、地熱、植物など自然のチカラをエネルギーに換えるのが、再生可能エネルギーです。だから「エネパ」があるのは、そのチカラがとても強い場所。毎日の暮らしでは触れられない自然が生み出すエネルギーを、体感してください。



自然や地方を学びながら
再生可能エネルギーを体感できる
「おすすめ見学コース」
もご用意！ ぜひ、ご家族そろって
「学べる旅」をお楽しみください。

地方ごとの風土が楽しめる

日本全国の「エネパ」は、その風土に最適な自然エネルギーを開発しているため、どこへ行っても特徴的な施設ばかり。まずは地元の施設から、次は観光旅行も兼ねて遠い施設に行ってみてはいかがでしょうか？

全国から寄せられた エネパ見学者の声を大公開!

▶茨城県次世代エネルギーパーク

大人から子どもまで、 再エネを実感できるツアーでした!

普段は入れない風車の中を見せていただいたり、実際に運営している方々から直接お話を伺ったり、とても勉強になりました。解説にクイズを取り入れるなど、飽きさせない工夫がされていて、子どもでも大人でも楽しめるツアーですね。

沿岸部にこれほどたくさんの風力発電施設があることに驚きました。夏休みの良い思い出になるとともに、環境問題に興味や関心を深めてゆくためのひとつの入り口になったと思います。



▶福島県次世代エネルギーパーク

親子で楽しみながら学べる ツアーでした!

子どもたちは「学校の授業でも、とても役に立った」「これから自分にできるエコをしたい」と言っています。この貴重な体験を通じて、たくさんの親子にエネルギーパークの素晴らしさ実感してほしいです。

各エネパでは、子どもたちにも分かりやすく説明してくれました。また、周辺の観光スポットの見学など、親子で楽しみながら学べるので、子どもが成長したら見方も違ってくるはず。また参加したいです。



▶北九州市次世代エネルギーパーク

子どもとエネルギーの未来を 考える機会に。

2歳の双子と4ヶ月の子どもを連れて行きましたが、参加してよかったです。エネルギーについて深く考える機会になりました。次世代を生きる小さな子の中にも何かが残ってくれていると思います。

普段からエネルギーについて考えていますが、再エネの可能性を実際に見て、感じる事ができ、とても興味深かったです。エネルギーの未来が明るく思えたし、北九州が素敵な町に思えるツアーでした。



環境や経済、日本や地球の いろいろな問題を「再生可能エネルギー」が 解決します。

再生可能エネルギー「3つのメリット」

日本のエネルギー
自給率が、
ぐんとアップ!

日本のエネルギー自給率はわずか6%。一方で、太陽や風、水、森林など、再生可能エネルギー資源は豊富にあります。これらを効率よく利用することが、エネルギー自給率の向上につながります。

日本の技術を
活かした、
新たな産業を育成!

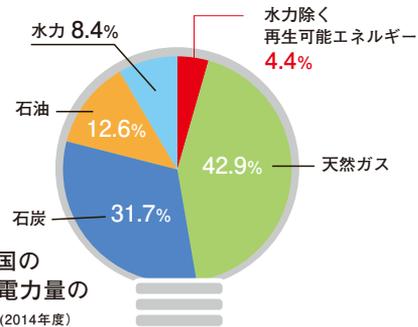
自然のチカラを効率よくエネルギーに変換するためには、さまざまな技術が必要です。そのために、国や企業が新しい技術を開発し、実際に発電施設として稼働させることで、日本の技術力を高め、国際的な競争力を高めることができます。

環境にやさしい
エネルギーで、
地球の未来を守る!

温暖化や環境問題の大きな原因は石油や化石燃料を使うこと。全国の発電量の4.4%しかない再生可能エネルギーを普及できれば、日本はもちろん、地球全体の環境問題も解決できるはずです。



日本のエネルギー自給率
2014年
6%
(出典)エネルギー白書2016

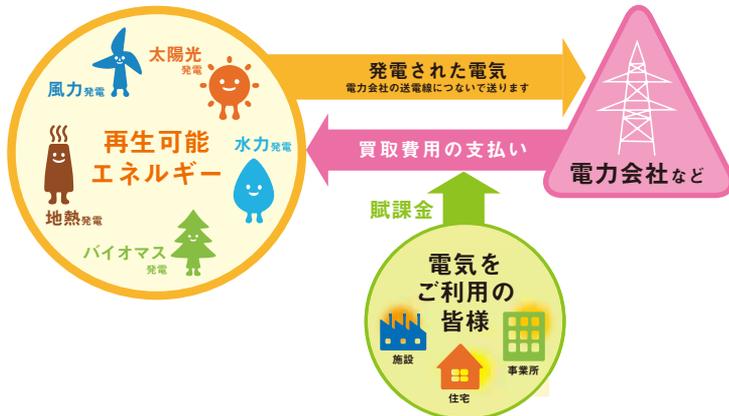


●我が国の発電電力量の構成(2014年度)
(出典)「総合エネルギー統計」「電力調査統計」等より資源エネルギー庁作成

再生可能エネルギーの普及を、みんなで応援するしくみ

「再生可能エネルギーの 固定価格買取制度」

再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で買い取ることを国が約束。その費用を、電気を利用する私たち全員から賦課金として集め、コストのかかる再生可能エネルギー導入をみんなで支える制度です。設備を建設するコスト回収の見通しが立ちやすくなることで、より普及が進むと期待されています。



小さな自然のチカラも、 集まれば大きなエネルギーに。 いろいろあります、「再生可能エネルギー」。



風力発電

風のチカラで回転させた風車で発電。ウインドファームのような大型から、学校などの公共施設に設置される小型のものもあります。



太陽光発電

太陽の光エネルギーを太陽電池で直接電気に換えるシステム。家庭用から大規模発電用まで導入は広がっています。



バイオマス発電

動植物などの生物資源（バイオマス）をエネルギー源にして電気や熱に変換。資源となるのは建築廃材、農業残さ、食品廃棄物などです。



水力発電

ダムなどの落差を活用し、水が落下するエネルギーを利用。注目は、農業用水路や小さな河川でも発電できる中小規模のタイプです。



地熱発電

地下に蓄えられた熱エネルギーを蒸気や熱水などで取り出し、タービンを回して発電。火山国の日本には、世界第3位の豊富な資源があります。



ほかにもいっぱい！ 再生可能エネルギー



太陽熱利用

太陽の熱エネルギーを集熱器に集めて水や空気を加熱し、給湯や暖房に利用。



バイオマス熱利用

各地域で収集できるバイオマス燃料を直接燃焼させ、暖房や給湯等に利用。



雪氷熱利用

冬に積もった雪や凍結した氷を冷熱源として保管し、夏の冷蔵や冷房に利用。



地中熱利用

昼夜間や季節間の温度変化が少ない地中で熱交換を行い、冷暖房や給湯に利用。



温度差熱利用

河川や海水の水温と気温との差や、工場の廃熱等を、給湯や冷暖房などに利用。

バイオ燃料

生物資源から、固体（ペレット等）、液体（バイオエタノール等）、気体（バイオガス等）の燃料を製造。

01 地方別エネパ紹介 北海道地方

▶見たいエネパをクリック！



日本の最北端から「環境都市わっかない」を世界に発信



平成22年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

稚内市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



自然エネルギー施設 と観光との連携で、 楽しくエコ体験

北海道立宗谷ふれあい公園や大沼球場に隣接した「稚内メガソーラー発電所」を中核に、次世代エネルギー施設の見学など、小さなお子様からお年寄りの方まで学習・体験できる環境を整備しております。57基の風車がそびえ立つ宗谷丘陵は、北海道遺産選定の周氷河地形、宗谷岬、日本最大級の宗谷岬牧場のほか、サハリンまで一望できることも。さらに、バイオマスをはじめとした電気自動車を組み合わせ、稚内の観光や味覚とともに、日本を代表するエネパとして国内外に発信していきます。

おすすめ見学コース

稚内の風力と太陽光を利用した発電量は、市内で消費される電力の全てをまかなうことができます。稚内の広大な自然と、そこから生み出されるクリーンなエネルギーをご見学ください。

1 天北ウインドファーム

民間所有施設で、1基あたり3,000kWの風力発電機が10基設置されています。



3 ミルクロード

国道40号線から大沼の北側を通って稚内空港に至る、景色の美しい6kmほどのドライブコース。大沼と周囲の広大な湿原を眺めながら、巨大な風車の足元をすり抜けるように走ります。



2 道立宗谷ふれあい公園(稚内メガソーラー)

道立ふれあい公園展望台より、約5,000kWの出力を誇る太陽光発電施設の全貌を見ることができます。

4 エコ足湯(稚内公園)

風力発電による再生可能エネルギーを利用した、環境にやさしい足湯です。冬季は、閉鎖しています。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.city.wakkanai.hokkaido.jp/>

稚内市環境水道部 環境エネルギー課 推進グループ
TEL.0162-23-6386



森林からのエネルギーで未来をつくる町

平成25年度認定



エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



下川町次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



林業の町が一丸で 取り組む、ユニークな 木質バイオマス推進

下川町次世代エネルギーパークでは、町全体で林業・林産業・住宅利用が一体となった木質バイオマスの利活用が視察できます。各公共施設の木質バイオマスボイラーだけでなく、木質原料製造施設(木くず燃料の製造施設)、集住化住宅と一体的に整備されている地域熱供給システムなど、積雪寒冷地である北海道ならではの、国内では珍しい熱供給設備が揃っています。

おすすめ見学コース

木を余すところなく使い、厳しい冬を乗り越える木質バイオマスエネルギーのすごさを実感できる見学コースへ、下川町ふるさと開発振興公社がご案内します。木質ボイラーを利用している五味温泉でのご入浴・ご宿泊もおすすめです。

1 木質原料製造施設

林地残材等を収集し、木質バイオマスボイラー用の木くず燃料を製造する施設。チップパー機で木を破碎する様子は豪快です。



2 役場周辺地域熱供給システム

木くず燃料を炊き、役場周辺の複数施設に暖房熱を供給する大きな木質バイオマスボイラー。ボイラー内で木くずが燃える様子も見ることができます。



3 環境共生型モデル住宅 エコハウス美桑

北海道の厳しい寒さや積雪を乗り越える知恵がつまったエコハウス。高断熱・高気密な構造に加え、地中熱ヒートポンプやベレットストーブで暖房を賄っています。



4 五味温泉

北海道で初めて木質バイオマスボイラーが導入された公共温泉施設。国内では珍しい含二酸化炭酸水素塩泉で、木のぬくもりを感じてください。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.town.shimokawa.hokkaido.jp/>

下川町環境未来都市推進課 TEL.01655-4-2511



時代の先を行く「環境都市」の原動力

平成27年度認定

滝川市次世代エネルギーパーク



エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



エネルギーパーク概要



再生可能エネルギーを、環境にやさしいまちづくりの力に

2003年の「滝川市環境都市宣言」をはじめ、滝川市は環境にやさしいまちづくりを進めてきました。生ごみのバイオガス発電にいち早く取り組んでいるほか、2012年には「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」の開始に合わせ、4ヵ所のメガソーラー誘致を実現。また、公共施設への太陽光発電導入と災害時対応のため市内温泉施設に導入した太陽光・太陽熱・風力発電設備は、年間20万人の利用者が再生エネに触れる機会となっています。さらに、JR滝川駅前広場の整備に合わせ、小形風力と太陽光のハイブリッド街路灯や、太陽光発電設備を屋根に設置した駐輪場の整備を行っています。

おすすめ見学コース

拠点施設である温泉施設「滝川ふれ愛の里」など公共施設やメガソーラー、生ごみによるバイオガス発電に取り組む「リサイクル」の見学がおすすめ。2017年からはJR滝川駅前広場に小型風力と太陽光発電によるハイブリッド街路灯、駐輪場に太陽光発電設備を設置しています。

1 滝川ふれ愛の里
年間20万人以上の利用がある温泉施設であり、太陽光・風力・太陽熱の設備が一度に見学可能。コテージで宿泊することもできます。



3 中空知衛生施設組合リサイクル
滝川市を含む3市2町の一部事務組合により運営されている広域生ごみ処理施設。生ごみから発生するメタンガスによって発電しています。



2 伯東滝川ほほえみソーラーパーク
市有地へのメガソーラー誘致第1号のサイト。発電量の表示パネルが設置されているほか、物見台からは全景を見渡すことができます。

4 JR滝川駅前広場
年間200万人以上の利用がある駅前広場に、太陽光・風力によるハイブリッド型街路灯を整備しています。



詳しい施設情報は [こちら](http://www.city.takikawa.hokkaido.jp/)

<http://www.city.takikawa.hokkaido.jp/>

滝川市産業振興部産業振興課 TEL.0125-28-8030(直通)

動物園内で「いのち」と「エネルギー」のかかわりを学ぶ



平成20年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



札幌市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



地球のいのちとエネルギーにふれる次世代エネルギーパーク 円山エコZoo(動物園)

札幌市円山動物園に展開する札幌市次世代エネルギーパークは、動物たちとのふれあいを楽しみながら、地球に生きる生命と私たちが使うエネルギーについて、環境というキーワードを通して考える施設です。園内には、太陽光発電、太陽熱温水器、木質ペレットボイラーをはじめ雪冷熱利用による冷房など地域特性を生かした様々な再生可能エネルギー設備を配置しています。

おすすめ見学コース

各施設は動物園内にまとまっていますので、どこから見学されても構いませんが、正門近くの「動物科学館」でエネルギーパークの全体像や展示設備をご覧いただいてから、園内を散策されるのがおすすめです。



1 動物科学館(パネル展示)

エネルギーパーク全体の再生可能エネルギー設備の説明や木質バイオマスなどのパネル展示を行っています。また、雲の動きや温暖化シミュレーションなどの多彩な映像が映し出される「触れる地球」を設置しています。

2 子ども動物園(太陽熱温水器)

太陽熱を利用して水道水を5℃程度温め、ウサギ、モルモットなどの小動物にふれた後の手洗いに使用しています。



3 わくわくアジアゾーン高山館(雪冷熱)

壁の吹き出し口から、夏期には12℃前後の雪解水による冷風を体感することができます。冷風で冷やされた観覧室では、活発に活動するレッサーパンダを目近で見ることができます。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/energypark.html>

札幌市環境局環境都市推進部エコエネルギー推進課
TEL.011-211-2872



伊達市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



教育や観光と力を 合わせて、新エネルギー の普及を推進

伊達市は、北海道内でも雪が少なく、四季を通じて温暖な気候に恵まれ、噴火湾や湖、海や山といった豊かな自然に囲まれたまち。中心部に位置する道の駅だて歴史の杜「伊達市観光物産館」を、新エネルギーに関する情報発信の中核施設とし、豊富な森林資源を活かした木質ペレット製造施設や太陽光発電、風力発電などの自然エネルギー関連施設をネットワーク化。「伊達市次世代エネルギーパーク」として環境学習に活用するとともに、学校教育や観光なども連携して普及啓発を推進することで「環境にやさしいまち・伊達」を目指しています。

おすすめ見学コース

「伊達ウインドファーム」「伊達ソーラー発電所」を見学したら、「伊達市観光物産館」のある道の駅だて歴史の杜や、周辺のレストランでご昼食。最後は「伊達市木質ペレット製造プラント」へ。北湯沢温泉郷へもぜひどうぞ。

1 伊達ウインドファーム

2011年から株式会社ユースエナジー伊達の風力発電機5基が運転を開始しました。発電出力は1基あたり2,000kWで、年間の発電量は一般家庭約6,600世帯の使用量に相当する計算に。ローターの直径は83.3mです。



2 伊達ソーラー発電所

2011年から運転している、北海道電力の大規模太陽光発電所です。4,800枚の太陽光発電パネルによる発電出力は1,000kW、年間発生電力量は約100万kWhで、これは一般家庭約300世帯分の年間電気使用量に相当します。

3 伊達市観光物産館

本エネパの中核施設であり、次世代エネルギーや地球環境保全に関する情報の発信基地。自然エネルギー関連施設について展示するほか、観光拠点としても文化・観光施設や温泉、宿泊施設など総合的にご案内しています。



4 伊達市木質ペレット製造プラント

2007年に大滝区に年間最大2,000tの製造能力を持つ木質ペレット製造施設を整備。主に市内の公共施設や一般家庭のほか、札幌市の小・中学校の暖房用ボイラーの燃料としても利用されるなど、出荷が拡大しています。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.city.date.hokkaido.jp/hotnews/detail/00000761.html>

伊達市経済環境部環境衛生課 TEL.0142-23-3331





エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



みどりと太陽のめぐみを活用した「エネルギーの地産地消」

平成23年度認定

芽室町次世代エネルギーパーク

INDEX

北海道

東北

関東甲信越

中部

近畿

中国

四国

九州

沖縄

エネルギーパーク概要



農業の町ならではの 取り組みで、再生可能 エネルギーを推進

芽室町では、耕地防風林などの剪定枝や、小豆殻、長いもつるなどの農業残さを活用。それを燃料に加工するペレット製造工場を中心に、町内各所のペレットボイラーや太陽光発電、地中熱ヒートポンプなどの再生可能エネルギー関連施設と組み合わせて「エネルギーの地産地消」の取り組みを推進しています。また、町内の観光施設などと連携し、主産業である「農業」および「食」とともに、エネルギーの地産地消を広くPRしています。

おすすめ見学コース

中心となるペレット工場をはじめとした町内在住の方々が参加する事業や、地元企業の積極的な取り組みなど、芽室町がめざす「エネルギーの地産地消」について、様々な角度からご見学いただけます。

1 ペレット工場
高齢者事業団(めむろシニアワークセンター)が、周辺に支障をきたす木(支障木)や剪定枝などからペレットを製造しています。



3 フクザワ・オーダー農機
太陽光発電で動く、長いもプランター(種いもを植える機械)を製造しています。



2 めむろシニアワークセンター育苗施設
支障木や剪定枝などから製造したペレットを燃料とし、高齢者事業団(めむろシニアワークセンター)が花の苗を育てています。



**4 バン工房
カントリープラン**
木質ペレットを燃料とした窯で、パンを製造しています。パンの原料も地元産にこだわっています。



詳しい施設情報は
<http://www.memuro.net/>
芽室町企画財政課企画調整係 TEL.0155-62-9721

豊かな森林と広大な大地からもたらされる、
地域産エネルギーで、あたたかな北国の暮らしを実現しています。



・地中熱利用
・温泉熱利用

太陽光発電

バイオマス熱利用

雪氷熱利用

平成24年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



足寄町次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



モデルコースを たどって、未来の エネルギーを探る

足寄町は、沖縄本島に匹敵する11万haの広大な森林面積を有し、豊富な森林資源や、冬季でも多い日照時間、家畜から出るふん尿など、豊かな自然が生み出す多様な資源が存在しています。それらを新たなエネルギーとして有効に活用することで、産業を活性化させ、地域経済の発展と雇用の拡大を目指しています。足寄町次世代エネルギーパークでは、5つの見学モデルコースを設定。エネルギーの種類や施設立地別に選ぶことができます。

おすすめ見学コース

一番人気の「森林バイオマスコース」をご覧くださいながら、足寄町の美味しいもの巡りもできる、おすすめのコースです。

1 足寄町役場

木造建築の役場庁舎と木質ペレットボイラーによる暖房、地中熱利用のエアチューブ空調をご見学ください。足寄町の次世代エネルギーの取り組みについてご説明いたします。



2 芽登ペレット工場

とかちペレット協同組合が運営する木質ペレット製造工場。地元産のカラマツ材を原料に年間を通じて生産しています。



3 道の駅 あしよる銀河ホール21

足寄町の特産物を販売しており、地域産食材を使ったレストラン足寄での昼食も人気です。近隣にはJAあしよる農産物直売所もあります。



4 マルショウ技研 ペレットストーブショールーム

お時間に余裕がありペレットストーブについて詳しく知りたい方はマルショウ技研にも足を運んでみて下さい。国内外のペレットストーブを多数展示しており、それらの使い方や選び方などについて知ることができます。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.town.ashoro.hokkaido.jp/shigoto/newener.html>

足寄町役場経済課林業商工観光室地域資源エネルギー担当
TEL.0156-25-2141



02 地方別エネパ紹介 東北地方

▶ 見たいエネパをクリック!

P16 六ヶ所村次世代エネルギーパーク



P17 のしろ次世代エネルギーパーク

P18 男鹿市次世代エネルギーパーク

P19 あきた次世代エネルギーパーク

P20 にかほエネルギーパーク

P21 もりおかエネルギーパーク



P22 庄内町次世代エネルギーパーク

P23 尾花沢市次世代エネルギーパーク



P24 宮城県次世代エネルギーパーク

P25 福島市次世代エネルギーパーク

P26 福島県次世代エネルギーパーク



「エネルギーの村、ろっかしょ」を全国に発信する体験型施設

平成20年度認定



・コージェネ
トリジェネ

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



六ヶ所村次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



エネルギーの将来を、誰もが体験・理解できるパークへ

六ヶ所村は、多くの風力発電施設、原子燃料サイクル施設や国際核融合エネルギー研究センター、国家石油備蓄基地など、エネルギー関連施設が集積しています。全国でも珍しい「エネルギーの村」という特徴を活かし、子どもからお年寄りまですべての方々が、過去や現在、未来のエネルギーのあり方について体験しながら理解を深められるパークです。それぞれの施設は個性ある運営を行いながら、情報や来場者へのサービス提供では緊密に連携。さらに、全国から人や産業を集めることで、六ヶ所村の観光・地域振興にも力を入れています。

おすすめ見学コース

六ヶ所村のエネルギーを学び、特産品を楽しめる見学コースとなっています。

① むつ小川原国家石油備蓄基地

240haの敷地に491万klの原油を備蓄。これは国内消費量の約12日分に相当します。



② 二又風力開発(株)

風力発電設備であるナセル(発電機やコンピューターを収めた部分)の実物大の模型や、NAS(ナトリウム硫黄)電池が見学できます。



③ スパハウスろっかぼっか

ナトリウム塩化物泉(低張性弱アルカリ性温泉)の泉質を持つ日帰り温泉施設です。露天風呂や和室付貸切風呂、宴会場、レストランなど施設が整っています。



④ 六趣醸造工房

太陽光発電システムが見学できるほか、六ヶ所村の特産品である長芋を使った本格焼酎「六趣」の製造過程の見学や試飲もできます。



詳しい施設情報はこちら

<https://6shunkan.com/>

六ヶ所村 特産品販売所【六旬館】内 TEL.0175-71-3115



再生可能エネルギーを活力に進む「エネルギーのまち」づくり



平成25年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

のしろ次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



バラエティ豊かな エネルギー施設を 結んで、 幅広い視野を育む

学校教育や生涯学習との連携を図り、能代市の持つ多様な再エネポテンシャルを見学・体感できるようなプログラムを盛り込みます。また、市域にある再生可能エネルギー設備と、能代火力発電所附属施設（PR館：能代エナジウムパーク）を周遊コースによって結びつけ、様々なエネルギーを体験できるパークづくりを目指します。

おすすめ見学コース

能代火力発電所の廃熱を利用した熱帯植物園は必見。2MW級風車は、真下から眺めてもよし、はまなす展望台から眺めてもよし。メガソーラーも加わったパークの全体概要は、能代エナジウムパークにあるパンフをご覧ください。

① 能代エナジウムパーク

能代火力発電所にある透明なドームが目印。発電所の排熱を利用した「熱帯植物園」や、地球やエネルギーのことがわかる「エネルギーの森」など、遊びながら学べます。外には「冒険広場」などがあり、一日中楽しめます。



② 米代川風力発電株式会社能代港第二風力発電所

2013年12月、能代港大森緑地内に建った風力発電所。タワー直下まで立ち入ることができ、見上げた様は壮観です。グローバルウィンドデイの会場ともなっていて、参加者のイラストがタワーを彩っています。



③ はまなす展望台

能代港大森緑地内の展望台。南側は、遠く男鹿市域までの海岸線に建つ風車が一望でき、北は白神山地の美しい山並みが楽しめます。100段の階段は運動不足解消にもってこい？



④ 能代落合太陽光発電所

能代初のメガソーラーとして2014年8月に稼動を開始した太陽光発電所。雪国である秋田での太陽光発電は不利とされるなか、試験的な要素を盛り込んだ発電事業を展開しています。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.city.noshiro.akita.jp/c.html?seq=10265>

能代市環境産業部商工港湾課 TEL.0185-89-2187



平成25年度認定

男鹿市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



歴史・文化とともに、 エネルギーの これからのを考える

悠久の時間が育んだ男鹿の豊かな自然は、地層・地質・埋蔵資源として太古からの「大地の物語」を伝え、また、資源を活用し営んできた「ひとの物語」は、独自の文化を育みました。大地の成り立ちを知り、地球と自然を学ぶ「男鹿半島・大潟ジオパーク」でもある男鹿市では、いま新たな自然の恵み、次世代エネルギー施設が整いつつあります。こうした機会を捉え、自然・文化とエネルギー、双方の学習と啓発を推進するため、地域の現在を見学しながら、過去を学習し、未来の姿を考える、自然環境と融合した次世代エネルギーパークを目指します。

おすすめ見学コース

風光明媚な男鹿半島の景観を楽しみつつ巡るドライブコースがおすすめです。

スタートは巨大なまはげ像が出迎える男鹿総合観光案内所。最後は眺望に優れた寒風山へ立ち寄れば、訪れた各施設が一望できます。

1 男鹿総合観光案内所、ナマハゲソーラーパーク、風の王国・男鹿発電所

観光案内所では、ガイド常駐、各種パンフレットを用意(トイレ、軽食、売店併設)。隣接する太陽光発電所(1,250kW)では管理棟でパネル等の展示を見学できるほか、周辺には風力発電施設(1,870kW×4基)もあります。



2 ジオパーク学習センター

男鹿市役所若美支所に併設されており、男鹿半島の成り立ちや岩石・化石の展示、地震・火山の記録、「年縞」を展示。理科学習コーナーでは、次世代エネルギーに関する展示をしています。(説明員常駐、入館無料)



3 男鹿風力発電(株) 男鹿風力発電所

市内初のウインドパーク(2,400kW×12基)。海風を受ける小高い丘に立ち並ぶ風車群で、各サイトからは漁港、海岸線、男鹿半島入道崎、白神山地を望むことができます(見学には申込みが必要です)。



4 秋田石油備蓄基地 石油備蓄資料館

世界最大級の地中式タンク12基、地上式タンク4基からなる約450万kℓ規模の備蓄基地。基地内に風力発電(さむかぜ君)1,500kWを配備し、資料館では基地の概要や地中式原油タンクのしくみが学べます。(入館無料、要申込み)



詳しい施設情報はこちら

<http://www.city.oga.akita.jp/>

男鹿市企画政策課 TEL.0185-24-9122



秋田の未来を見てみよう

平成26年度認定

あきた次世代エネルギーパーク



太陽光発電



風力発電



バイオマス



温度差熱利用(地中熱)

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

エネルギーパーク概要

厳しい自然と
上手に付き合い、
エネルギー利用へ

風況が良く、森林資源にも恵まれた秋田市。様々なタイプの風力発電施設を市街地の近くで見ることができ、地元の木材を使った木質バイオマス熱利用の導入も進んでいます。また、日本海側という不利な条件に関わらず、積雪や日照不足への工夫によって実現したメガソーラーなど、市内にあるたくさんの再生可能エネルギー施設を気軽に見学していただけるよう体制を整えました。環境にやさしい都市であることを発信しながら、秋田での未来の暮らしや低炭素社会、脱化石燃料社会への理解と関心を高め、再生可能エネルギーの普及促進につなげていきます。

おすすめ見学コース

風力発電施設群、木質バイオマス発電および太陽光発電が移動時間1時間以内で見学することができます。

① 秋田公立美術大学

新たな芸術領域の創造、世界へ発信するグローバル人材の育成など、4つの基本理念のもと2013年4月に開学した東北で唯一の公立美術大学です。地元で生産された木質ペレットを燃料とする冷暖房用ペレットボイラーが設置されています。



② 風力発電施設群

秋田市の風況の良さを象徴する45基の風車が道路に沿って立ち並ぶ、海岸のドライブコースです。この地区では洋上風力の計画も進められており、再生可能エネルギー活用の拠点としてさらなる発展が期待され様々な視察者が訪れています。



③ ユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社

全国一のスギ人工林の有する本県の豊富な森林資源を活用し、2016年7月から、未利用材等を燃料にバイオマス発電を行っています。最大出力20.5MWのバイオマス発電所は、東北最大級を誇ります。



④ JXTGエネルギー(株)秋田油槽所

石油製品の出荷基地であるJXTGエネルギー秋田油槽所内に4MWの太陽光発電と1.5MWの風力発電が設置され、同じ敷地内に現在と未来の主力エネルギーが立ち並んでいます。



詳しい施設情報はこちら

http://www.city.akita.akita.jp/city/ev/mn/ene_park/default.htm

秋田市環境部環境総務課新エネルギー担当
TEL.018-888-5704



鳥海山と日本海の自然環境を活用したクリーンエネルギー供給のまち

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

平成25年度認定

にかほエネルギーパーク

エネルギーパーク概要



どうつくり、
どう使われるか。
再エネのゆくえまで
「見える化」

風力発電が集中する仁賀保高原のひばり荘では、市内の再生エネルギーが、どのように消費されるのかが分かるよう展示。また、市内で実際に発電している施設を巡ることができる見学コースもご用意しています。

おすすめ見学コース

風力発電が見え、動物に触れ、乳製品も味わえる「仁賀保高原」。水力発電を横目に、獅子ヶ鼻湿原にたたずむブナの巨木「あがりこ大王」。旅の疲れは天然ガスコージェネ発電の排熱で温めた天然温泉が癒します。

1 道の駅 きさかた ねむの丘

東北最大級の道の駅。地元産の岩ガキなどの魚介や日本酒などのお土産をお求めいただけるだけでなく、日本海に沈む夕日や鳥海山、九十九島を眺めながらお食事や日帰り入浴も楽しめます。



2 ひばり荘と土田牧場

ひばり荘では、にかほ市内の再エネに関するパネルを展示。展望室からは、鳥海山をバックに風力発電施設が間近に見られます。また土田牧場では、動物に触れあいながら、乳製品などを味わえます。



3 中島台レクリエーションの森 (獅子ヶ鼻湿原)

奇形巨木「あがりこ大王」など、ブナの原生林は神秘的な空間。湧水池「出つぼ」からの伏流水がつくる「獅子ヶ鼻湿原」は、世界的に貴重なコケの群生地、流水の中で球状になる「鳥海まりも」が生息しています。



4 温泉保養センター はまなす

自噴する天然ガスを使ったコージェネレーション発電を館内の照明に使い、排熱は水の加温に利用。宿泊・日帰り入浴ともに、皮膚病などに効く天然温泉と地魚や山菜など四季折々の旬の味覚を楽しめます。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.city.nikaho.akita.jp/>

企画課企画班 TEL.0184-43-7510



水と緑のまち“もりおか”を未来につなぐ



平成27年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



もりおかエネルギーパーク

エネルギーパーク概要



歴史ある街並みに 調和する、 再エネへの取り組み

秀峰岩手山を間近に望み、豊かな緑と清らかな水に恵まれたまち盛岡は、城下のまちづくりから400年を超える歴史の中で、みちのくの小京都と謳われる風情ある街並みや伝統文化を育ててきました。この良好な環境のもと、市内を貫流する北上川水系では半世紀以上にわたり水力発電が営まれ、近年は太陽光発電やバイオマス熱利用など、地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入が各地で進められています。街なかを散策したあとは「もりおかエネルギーパーク」に足を伸ばして、自然と都市が調和した盛岡の魅力を体感してください！

おすすめ見学コース

中心部の環境学習広場を出発して水力発電所やごみ焼却の余熱利用施設などをめぐり、ゴールの後は温泉と郷土食で心と体をリフレッシュする手軽なドライブコースです。(施設内部の見学を希望する場合は事前予約が必要です)

1 エコアス広場

遥か遠くに山なみを望む澄んだ空の下、各ポイントに置かれた環境学習パネルをたどりながら再エネや資源循環などについて学びます。盛岡出身の詩人・石川啄木も好んで散策した桜の名所「高松の池」に隣接。



2 四十四田発電所(四十四田ダム)

東北最大の河川・北上川本流に建設されたダムの豊富な貯留水を利用する発電所です。「南部片富士湖ものしり館」ではダムの役割や自然環境について学べます。ダムから車で3分の岩手県立博物館もお薦めのスポット。



3 クリーンセンター・ゆびあす

ごみ焼却で発生する熱を利用して、蒸気タービン発電や熱交換設備による場内の冷暖房・給湯を行っています。隣接の「ゆびあす」では余熱利用によって5種類のプールや浴場などをオールシーズン楽しむことができます。



4 ユートランド姫神・ソーラーガーデン姫神

産直や郷土料理コーナーを備えた地産地消の温泉宿泊施設です。給湯や暖房には地元の木材を利用するチップボイラーを導入。玄関前の見学台からは広大なソーラーガーデン姫神の太陽光パネルが一望できます。



詳しい施設情報はこちら

http://www.eco-morioka.jp/ondanka_sinenergy/torikumi/sesaku/energypark

盛岡市環境部環境企画課 TEL.019-626-3754



風力発電の先駆の町が取り組む「庄内町モデル」を全国へ



平成24年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



庄内町次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



再生可能 エネルギーの導入と 住民参加型の 省エネを同時に推進

風力エネルギーの利用にいち早く取り組んできた庄内町では、新エネルギーと省エネルギーを車の両輪のようなものとして捉えています。新エネルギーの推進と同時に省エネルギーの啓発も重要と考え、町民節電所事業や小中学校省エネチャレンジ事業などを実施。今後は、町内の約2/3を占める森林資源の有効活用をはじめとしたエネルギーの地産地消「庄内町モデル」を目指します。

おすすめ見学コース

庄内町には、風力・太陽光・木質バイオマス・雪氷熱・ガスコージェネレーション・温泉排湯などの再生可能エネルギー施設があります。おすすめ見学コースは、車で簡単に見て回れる距離に揃っています。この機会に再エネへの理解を深めてみませんか。



1 庄内町ギャラリー温泉 町湯

ガスコージェネレーションシステムによる発電のほか、温泉の排湯は冬場のロードヒーティングや源泉の昇温に利用しています。

2 庄内町第一種苗センター

雪室には約250tの雪を貯蔵可能。この雪室内の雪氷熱を利用して花卉種苗ハウスの温度調整を行っています。(熱交換冷水循環方式)



3 庄内町堆肥生産センター「エコリン」

一般家庭から出る生ごみ、もみ殻、畜ふん尿、BMW(生物活性水)をバイオマスと捉え、完熟堆肥「エコリン堆肥」を製造。資源循環型社会への行動拠点として、また土づくりや有機農業の拠点として庄内町の農業を支えています。



4 ウィンドファーム立川

新庄盆地から庄内平野に吹く風は、旧立川町の最上川峡谷を吹き抜ける時に「清川だし」と呼ばれる強風になります。庄内町では、悪風として知られるこの局地風を風力発電に利用しています。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.town.shonai.lg.jp/>

庄内町役場商工観光課新エネルギー係 TEL.0234-56-3361



大正ロマン再生可能エネルギーパーク



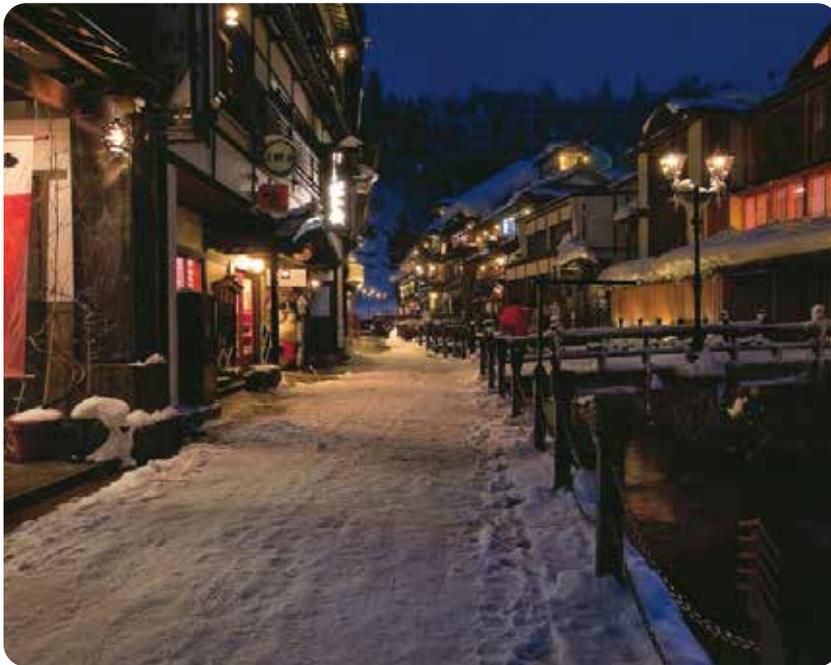
平成23年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

尾花沢市次世代エネルギーパーク



エネルギーパーク概要

再生可能エネルギーを
地域活性と観光の力に

雪氷熱を活用した尾花沢市役所庁舎の雪冷房システムや、市の名産である蕎麦を保存する雪蔵、大正時代に築堤された人造湖「徳良湖」での水力発電設備などの各種施設を、江戸時代に銀山として栄えた代表的温泉観光地「銀山温泉」にちなみ『大正ロマン再生可能エネルギーパーク』と称して紹介しています。雪氷熱の利用を中心に、奥羽山脈から流れる豊かな水資源を活用した水力発電設備や地中熱を利用した融雪設備、花笠踊りの発祥地「徳良湖」湖畔にあるバイオマス熱を活用した花畑など、尾花沢市にある豊かな地域資源を活用し、市民をはじめ観光客の方々にも再生可能エネルギー利活用の啓蒙・啓発を図っていきます。

おすすめ見学コース

「日本三雪」にも数えられる豪雪地ならではの豊富な雪氷資源を、市役所庁舎の冷房や名産の蕎麦「最上早生」の保存に利用。花笠踊りの発祥地「徳良湖」をご覧いただいた後は、名湯「銀山温泉」でおくつろぎください。

1 明友庵雪蔵

「そば処『明友庵』」の敷地内にある雪蔵には、地元尾花沢産の玄蕎麦「最上早生」が保管されており、雪蔵貯蔵の玄蕎麦を使った料理はお客様にも好評をいただいております。



2 尾花沢市役所雪冷房

「尾花沢式雪山簡便冷房システム」は、「やっかいもの」「邪魔なもの」として扱われる雪を「有効な資源」として利用するため、2002年度から市庁舎の一部に導入しています。



3 文化体育施設サルナート大地熱利用融雪設備

10～30m程度の浅井戸(地下水)から熱だけを採り、ヒートポンプで加温した不凍液循環により融雪を図る「無揚水型地下水熱利用融雪システム」。



4 徳良湖マイクロ水力発電設備

花笠踊りの発祥地である徳良湖の水資源を有効活用した、徳良湖湖面と排水面の高低差によるサイフォン取水型のマイクロ水力発電設備です。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.city.obanazawa.yamagata.jp/>

尾花沢市 定住推進課 TEL.0237-22-1111



平成21年度認定

宮城県次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



自然の力を活かせる 多種多様な施設が 県内各地に点在

豊かな自然や地域の特性を有効利用した次世代エネルギー施設が数多く存在する宮城県。日本でも古い歴史を持つ水力発電所、地熱発電所、森林資源の豊富な地域や製紙工場・合板工場などでのバイオマスエネルギー利用など、その種類は多岐にわたっています。さらに近年では太陽光発電所の建設も各地で進んでおり、沿岸部でも津波被災地を活用したメガソーラーの建設や、屋根貸し事業として復興住宅への太陽光発電システム整備を行うなど、再生可能エネルギーを活用し、環境に配慮したエコタウンづくりが進められつつあります。

おすすめ見学コース

東日本大震災で被災した沿岸部を中心に1周するコースです。エネルギー種別も、太陽光、小水力、地中熱、バイオマス、エネルギーマネジメントと様々。再生可能エネルギーとあわせて、ぜひ宮城県内の観光をお楽しみください。

1 馬越石水力発電所(仙台市)

県が水道施設を事業者に貸し付け、発電事業を実施。仙南・仙塩広域水道の高区調整池内に設置され、浄水場との落差を利用して発電します。年間発電電力量は186万kWhで、一般家庭約550世帯の年間使用電力量に相当します。

[事業主体:(株)アクアパワー東北]



2 南三陸役場新庁舎(南三陸町)

南三陸町役場では、FSC(森林管理協議会)認証済の町産木材が豊富に使用されており、さらに、エネルギーの地産地消を目指し、地中熱ヒートポンプを活用した空調システムや木質バイオマスボイラーによる床暖房システムを導入しています。



3 東松島市スマート防災エコタウン

太陽光発電の発電電力をFITで売らず、自営線により災害公営住宅85戸と周辺の4つの病院や公共施設にCEMSで最適制御しながら供給する地産地消システムです。系統電力が遮断した場合にも、最低3日間は通常の電力供給が可能です。



4 いわぬま臨空メガソーラー発電所(岩沼市)

東日本大震災の津波による塩害と地盤沈下により農作の再開が困難になっていた農地を有効活用するため、市が発電事業者を公募しました。年間発電量は123万kWhで、一般家庭約350世帯の年間使用量に相当します。



詳しい施設情報はこちら

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/saisei/h28energyparkguidebook.html>

宮城県環境生活部再生可能エネルギー室 TEL.022-211-2655





市全体を一つのエネルギーパークに!

平成27年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

福島市次世代エネルギーパーク



エネルギーパーク概要



▲土湯温泉16号源泉バイナリー発電所

地域資源を活用し、 地域特性にあった 再エネを推進

「福島市次世代エネルギーパーク」では、地域資源を活用した小水力発電や地熱バイナリー発電などの市内に立地する代表的な再生可能エネルギー発電設備や関連施設を連携させ、再生可能エネルギーの普及啓発を図っています。

今回、新たに学習施設を併設した太陽光発電所「ふくしまさいえねパーク」などを計画に追加し、本計画の更なる充実を図ることで、多くの方々に再生可能エネルギーの特徴等について、一層理解を深めてもらえる機会の創出に努めていきます。

おすすめ見学コース

JR福島駅を起点に、市内各地に立地する代表的な再生可能エネルギー発電設備や関連施設を、自然景観や温泉など観光を楽しみながら巡ることができるコースです。

1 JR福島駅

福島駅は、JR東日本による省エネルギー・再生可能エネルギーなど様々な環境保全技術を駅に導入する「エコステ」のモデル駅。太陽光発電設備や地中熱ヒートポンプ、LED照明等の再エネ・省エネ設備が導入されています。



▲東北新幹線ホーム屋根の軽量型太陽光パネル

2 ふくしまさいえねパーク

敷地内に太陽光発電所と併せて学習施設（見学学習館）が併設されており、太陽光や風力、水力など再生可能エネルギーの仕組みを解説したパネル等を展示しています。また、展望デッキからは太陽光発電所が一望できます。



▲展望デッキから見た太陽光発電所

3 四季の里小水力発電設備

地元企業の技術と地域資源を活用した小水力発電設備を設置するとともに、展示コーナーを開設し、小水力発電のしくみや利点、小水力発電ができる場所や水車の種類等について、パネル展示等にて解説しています。



▲下掛け水車と水車小屋

4 土湯温泉東鴉川水力発電所と 土湯温泉16号源泉バイナリー発電所

土湯温泉町には、砂防堰堤を利用した小水力発電所と既存の源泉を使った東北初の地熱バイナリー発電所があります。それぞれの発電所には遊歩道や展望台が整備され、発電の仕組みを一元的に学習できます。



▲東鴉川第3砂防堰堤



詳しい施設情報はこちら

<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/>

福島市 環境部 環境課 再生可能エネルギー推進係
TEL.024-535-1111 (内線3718)

再生可能エネルギー先駆けの地を目指して

平成24年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

福島県次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



“再生可能エネルギー先駆けの地”をエネパで体験

多様な地域特性を活かした風力、水力、地熱、太陽光など、県内に点在する再生エネ施設を巡って、再生可能エネルギー先駆けの地を目指す福島県を実感。再生エネの体験学習施設を備えた施設も登場しエネパがより一層充実しています。教育旅行にもぜひ、エネパをご活用ください。

おすすめ見学施設

エネパの発電施設をいくつかご紹介します。バラエティに富んだ再生可能エネルギーの現場はどれも大迫力。豊かな自然や歴史の魅力にも触れられる旅へ出かけてみませんか。

1 南相馬ソーラー・アグリパーク

津波被災地(市有地)を活用し、太陽光発電所と植物工場を舞台とし、子どもたちの「自ら考えて行動する力」を伸ばす体験学習を行っています。大学生、企業の方々に、通常の見学案内も実施しています。



2 福島空港メガソーラー

福島県における再生可能エネルギー推進のシンボル。2014年4月から国内外30種のパネルや多様な架台を設置し、長期的に運用・評価を行っています。普及啓発の拠点として、また体験学習の場として活用されています。



3 郡山布引高原風力発電所

猪苗代湖や磐梯山を望む布引高原に設置された、国内最大級(約66MW)の風力発電所。季節の花が咲く花畑と、高さ100mの風車が33基立ち並ぶ壮大な風景は、観光名所として知られています。



4 柳津西山地熱発電所

マグマがもたらす熱水を利用した65MWの地熱発電所。熱のミュージアム「PR館」では、発電設備やしくみ、マグマや地底の様子が学べます。大規模な水力発電所が連続する只見川も近く、日本有数の再生エネ発電地域となっています。



詳しい施設情報はこちら

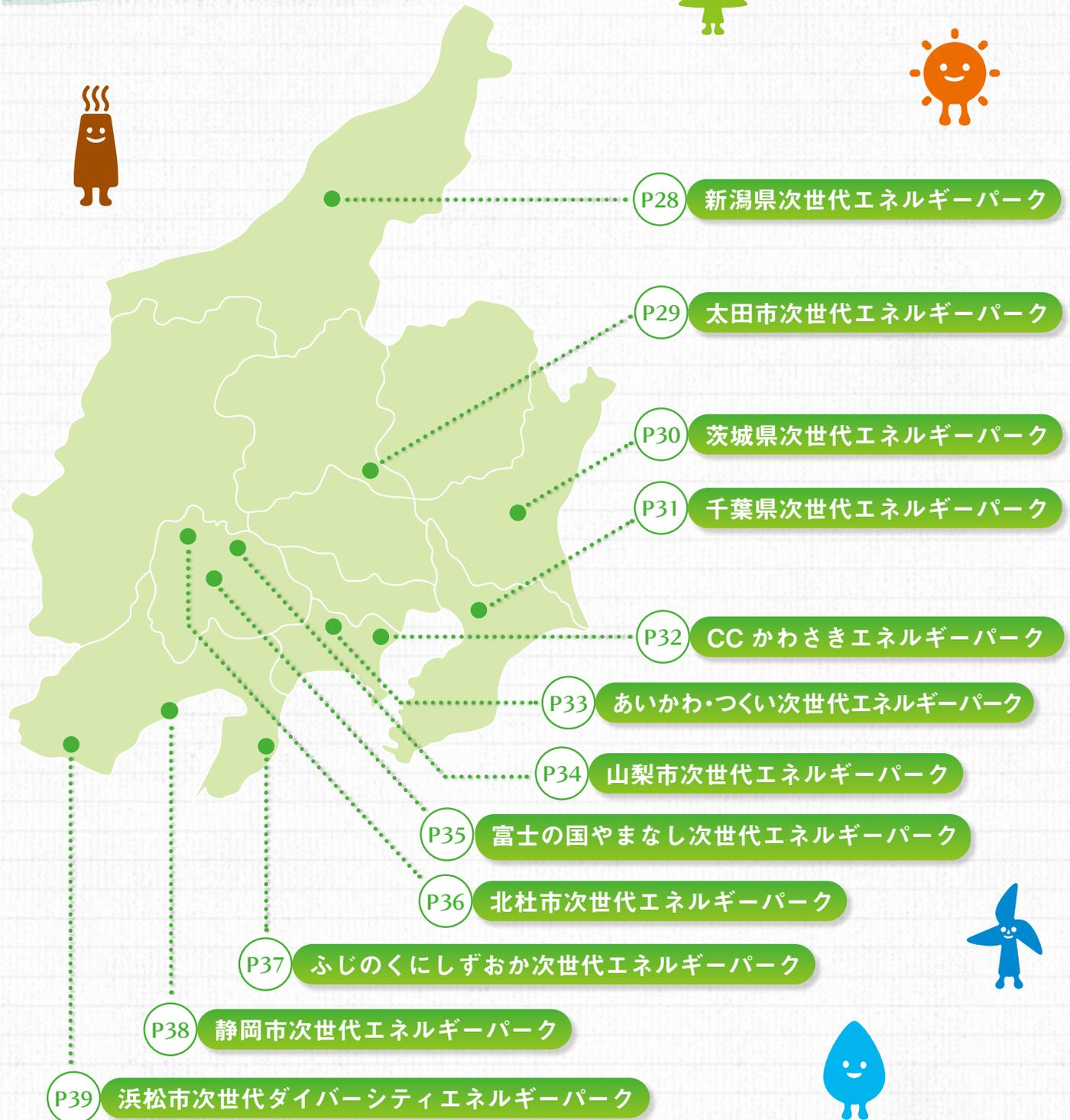
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/>

福島県企画調整部エネルギー課 TEL.024-521-8417



09 地方別エネパ紹介 関東甲信越地方

▶ 見たいエネパをクリック!



県全体が、バラエティに富んだエネルギーの学びの場



太陽光発電 風力発電 水力発電 雪氷熱利用

平成22年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

新潟県次世代エネルギーパーク



エネルギーパーク概要



地域特性を活かし エネルギー供給基地 「新潟」をPR

古くから石油・天然ガスの開発が行われてきた新潟県には、豊富な水資源を活用した水力発電所も多く、また、世界最大の原子力発電所も立地。さらに、全国初の太陽電池による商業用発電設備「新潟雪国型メガソーラー」をはじめ、風力発電所、全国有数の豪雪地という地域特性を活かした雪氷熱導入施設があります。多種多様なエネルギーへの理解を深められるパークとして、メガソーラーなどのエネルギー関連施設と自然科学系の博物館の両輪で、エネルギー供給基地「新潟」をPRしていきます。

おすすめ見学コース

再生可能エネルギーを見学するルートです。太陽光発電所や風力発電所の施設見学を行うことができます。

① 紫雲寺風力発電所

日本海特有の風を利用した、新潟県内最大級の風力発電所です(最大出力1,920kW)。子供たちへの環境教育をはじめ、自然エネルギーへの理解を深めることができる施設です。



② 新潟雪国型メガソーラー

日本初の商業用メガソーラー発電所として、昭和シェル石油株式会社の旧製油所跡地に設置されました。一般住宅約300軒分に相当する1MWの発電能力があります。見学施設があり、太陽光発電全般について学ぶことができます。



③ 新潟東部太陽光発電所

電気事業として自治体が設置する全国初のメガソーラー(1~3号系列:最大出力17MW)。①可変式架台、②落雪を考慮した架台高さ、③太陽を自動追尾する設備といった特徴があります。発電所内の一部は見学できる他、隣接する高台「風の丘公園」からは発電所全景を一望することができます。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.pref.niigata.lg.jp/sangyoshinko/1314223226519.html>

新潟県産業労働観光部産業振興課 新エネルギー資源開発室
TEL.025-280-5257



「まちごとエネルギーパーク構想」で、市全体をモデル都市に

平成20年度認定

太田市次世代エネルギーパーク



エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



エネルギーパーク概要



「太陽光発電推進のまち おおた」を全国に発信

世界最大級の太陽光発電団地「パルタウン城西の杜」や自治体単独で初の1.5MWメガソーラー「おおた太陽光発電所」、1.9MWの「おおた緑町太陽光発電所」、1.5MWの「おおた鶴生田町太陽光発電所」など、太陽光発電を中心に新エネルギー情報を全国に向けて発信中。さらに、太陽の動きを追い、エネルギーを収束して発電する集光追尾型太陽光発電システムを導入し、クリーンエネルギーによる自然にやさしい都市を目指しています。

おすすめ見学コース

次世代エネルギーパークの中心施設・太田市エコハウスから、おおた太陽光発電所を巡るコース。エコハウスのある北部運動公園では、春は芝桜、冬はイルミネーションの美しい風景が楽しめます。



1 太田市エコハウス

環境への負荷を低減し、エネルギー消費を抑えながら快適に暮らせる「環境共生型モデル住宅」です。

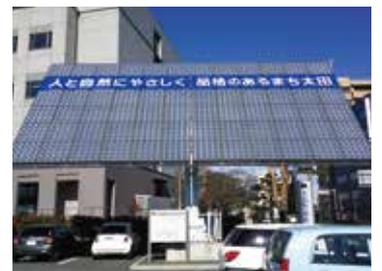
2 おおた太陽光発電所

発電出力1,500kW。2012年7月1日より再エネ法施行に合わせ発電を開始しました。施設は包括的リース契約により初期投資を軽減させた、自治体によるメガソーラーのモデルとなっています。



3 集光追尾型太陽光発電システム

発電モジュールを常に太陽に向け、光をプラスチックレンズで820倍に集めて発電します。2013年3月より発電を開始、発電出力は16.8kW。庁舎で使用する電力として自家消費しています。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.city.ota.gunma.jp/>

太田市役所産業環境部環境政策課 TEL.0276-47-1111



最先端の新エネルギー施設が集まる電源立地県



エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



平成19年度認定

茨城県次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要

自然エネルギー施設
と観光との連携で、
楽しくエコ体験

最先端の技術開発を行う研究機関、風力発電施設やバイオマス発電施設などが集まり、県全体が“エネルギーパーク”に。太陽光発電研究、国内最大級のバイオマス発電施設など、先進的な取り組みを間近で見学できます。

次世代エネルギー研究の最先端にふれることができる「県南・県西地区」、液化天然ガスや太陽光発電などさまざまなエネルギー施設がある「県北・県央地区」、風力発電施設、太陽光発電施設、バイオマス発電施設が見学できる「鹿行地区」の3つのエリアがあり、近隣観光と合わせた見学のコーディネートが可能です。

おすすめ見学コース

県内最大の工業地帯である鹿島臨海工業地帯を中心に、エネルギー関連施設、コンビナートでの省エネルギー対策、風力発電やバイオマス発電、太陽光発電を体感。近くにある港公園の展望塔からは大工場群を一望できます。[JR東京駅→鹿島セントラルホテル(90分)]

① 神之池バイオエネルギー(株)神之池バイオマス発電所

国内最大級のバイオマス専焼発電所。大半のバイオマス燃料は、隣接する中国木材(株)鹿島工場より供給され、運搬によるエネルギーロスが少なく、環境への負荷が抑えられます。隣接する製材工場の見学も可能です。



[鹿島セントラルホテルから車で15分／東関東自動車道潮来ICから車で15分]



② (株)カネカ鹿島工場太陽光発電

太陽電池モジュール容量12.7MW、パワーコンディショナー容量10MW。

③ (株)ウインド・パワー・いばらき
ウインド・パワーかみず第1・第2洋上風力発電所

国内初の外海洋上発電所。出力2,000kWの風力発電施設を15基設置。洋上に設置することで、内陸部に比べ建物や地形の影響が少なく、安定した発電が可能に。また、周辺への騒音・振動の影響を軽減します。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.ibaraki-energypark.jp/>

インフォメーションセンター TEL.029-863-6868

エネルギーの「これまで」と「これから」がひとつになる場所



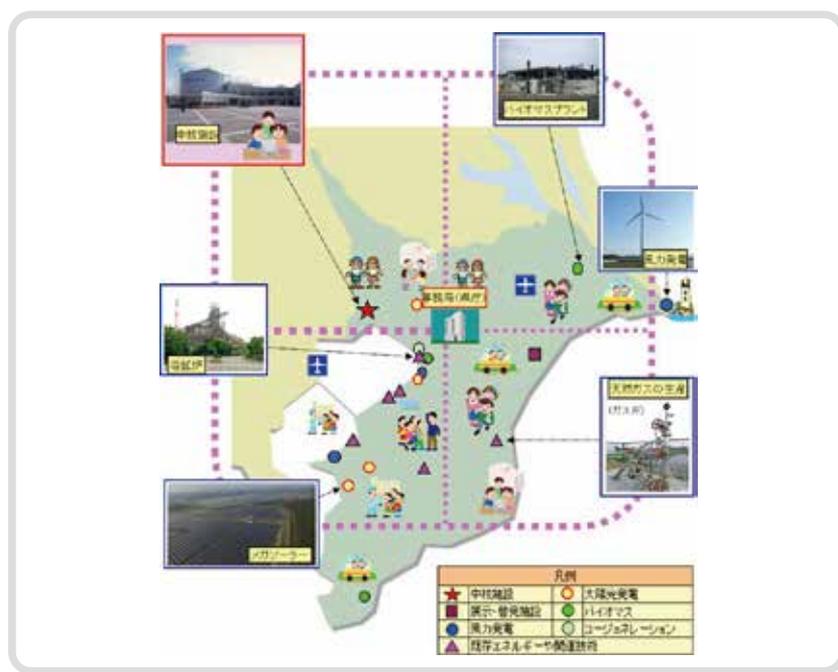
平成22年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



千葉県次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



エネルギー産業の集積地から、新エネルギーへの取り組みを発信

千葉県は、東京湾臨海部を中心に、電力やガス、石油などのエネルギー関連の工場や施設が数多くあるエネルギー産業の集積地です。一方で公共施設や民間施設の工場では、太陽光発電、風力発電、バイオマス利用など新エネルギーへの取り組みも盛んに行われています。

おすすめ見学コース

エネルギー関連施設をネットワーク化し、新エネルギーはもちろん、既存エネルギーを高度利用する取り組みなどを見学・体験できるのが「千葉県次世代エネルギーパーク」です。

1 千葉県立現代産業科学館

「現代産業の歴史」「先端技術への招待」「創造の広場」の3つのコーナーで構成されており、子供から大人まで、だれもが産業に応用された科学技術を体験的に学ぶことのできる科学館です。



[JR本八幡駅・下総中山駅より徒歩15分 / 京葉道路・市川ICより自動車5分]

3 グリーンパワー富津太陽光発電所

株式会社グリーンパワーインベストメントが運営する、関東最大級のメガソーラー（パネル発電出力42.21MW）です。約51.6ha（東京ドーム11個分）の広大な敷地には、約17万枚の太陽光パネルが設置されています。



[JR佐貫町駅より自動車5分 / 館山自動車道・富津中央ICより自動車3分]

2 JFEスチール(株) 東日本製鉄所(千葉地区)

京葉工業地域のパイオニアとして、戦後わが国で初めて建設された鉄鋼一貫の臨海製鉄所。製鉄所のシンボルである巨大な溶鉱炉と、赤く焼けた鉄の板が500メートルの長さを通り抜ける熱間圧延工場をご覧いただけます。



[JR蘇我駅より徒歩10分]

詳しい施設情報はこちら

<http://www.pref.chiba.lg.jp/sanshin/new-enrgy/ep.html>

千葉県商工労働部産業振興課 TEL.043-223-2613



最大級から最先端までリンクする環境エネルギーのショーケース



太陽光発電/太陽熱利用



風力発電



バイオマス



水力発電

平成22年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

CCかわさきエネルギーパーク

エネルギーパーク概要



「産業観光のメッカ」 川崎で最先端 エネルギーを体感

大規模太陽光発電所や大型風力発電所など再生可能エネルギーを導入した施設や、世界最高効率の天然ガス発電所など、最先端の環境エネルギー技術を持つ施設が市内各地に点在している川崎市。「CCかわさきエネルギーパーク」は、「かわさきエコ暮らし未来館」を中心にこれらの施設をリンクさせ、優れた環境力を国内外に発信するプロジェクトです。ものづくりのまち川崎の魅力を伝える「産業観光」とも連携し、エネルギーを身近に体験してもらう取り組みを行っています。

おすすめ見学コース

再開発により再生可能エネルギー導入が進む川崎駅からスタート。高度経済成長を支え、近年はエネルギー拠点の面も併せ持つようになった、工場が建ち並ぶ臨海部を巡ります。一日で川崎の環境力を実感できます。



1 東芝未来科学館

東芝のあゆみを振り返る歴史ゾーンや子供たちが科学技術とふれあえるサイエンスゾーン、最新技術を体感しながら学べるフューチャーゾーンからなるミュージアムです。発電技術はもちろん、スマートコミュニティに関する様々な仕組みを楽しみながら学べます。[最寄駅:JR川崎駅]



2 川崎駅東口駅前広場

タクシーシェルターに太陽光パネルを設置し、発電を行っています。発電電力を時間や気温、湿度とともに広場の表示板に表示しています。[最寄駅:JR川崎駅]



3 かわさきエコ暮らし未来館

「見て、聞いて、触れながら学べる」がコンセプトの体験型環境学習施設です。公害克服に向けた取組など川崎の環境の歴史を映像で学べるコーナーや、ごみの分別をゲームで学べるコーナーもあります。アクセス:JR川崎駅から「臨港バス川03系統浮島バスターミナル行き」に乗り、終点「浮島バスターミナル」下車徒歩10分



4 川崎大規模太陽光発電所

全国に先駆けて2011年に稼働を開始したメガソーラーです。隣接するかわさきエコ暮らし未来館のガイドツアーに参加すれば、大迫力のメガソーラーを間近で見学することができます。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000049568.html>

川崎市環境局地球環境推進室 TEL.044-200-3871



*かわさきエコ暮らし未来館で行っているガイドツアーで見学できます。

豊かな水資源と太陽がもたらすエネルギーを体験

平成24年度認定

あいかわ・つくい次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

エネルギーパーク概要

再生可能エネルギー
を学びながら、
自然と触れあう

あいかわ・つくい次世代エネルギーパークの中心施設である愛川太陽光発電所は、神奈川県初のメガソーラー発電所です。愛川ソーラーパークは、地域に開放されるスペースとして展望広場や遊歩道、つつじ庭園などを整備。また、敷地内には太陽を追従する二軸追尾型太陽光発電設備の“クルパネくん”をソーラーパークのシンボルとして設置しています。県内山間部の豊富な水資源を活かした水力発電所も含め、バスツアーや見学会などにより、再生可能エネルギーを通じて神奈川の自然を広く知っていただく機会を広げています。

おすすめ見学コース

「宮ヶ瀬湖エリア」は、太陽光発電のほかにも、宮ヶ瀬湖の水を使って発電する愛川第1発電所があり、おすすめです。また宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館には、水力や太陽光発電の仕組みを体感できるゾーンもあります。



1 愛川太陽光発電所

神奈川県営初のメガソーラー発電所です。横浜スタジアム約2.5個分の広さの敷地に約8,000枚の太陽電池モジュールを敷き詰め、最大1,896kWの出力で一般家庭約520軒分の電気を作っています。敷地内は自由にご見学いただけます。

2 愛川第1発電所

神奈川の水がめである宮ヶ瀬湖の水を使い、電力の必要な時間帯に運転する水力発電所です。最大毎秒22m³の水を使用して24,200kWの出力で発電。宮ヶ瀬ダムの観光放流にあわせて、月1回程度見学会を実施しています。



3 宮ヶ瀬ダム・宮ヶ瀬湖

首都圏最大のダムである宮ヶ瀬ダムでは、不定期に毎秒30m³の水量によるダイナミックな観光放流が行われています。ダムの完成により作られた宮ヶ瀬湖には、遊覧船や湖畔をゆっくり走るロードトレインなどがあります。



4 宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館

館内の電気ゾーンには、水車発電機の模型や発電所バーチャルツアーなど、水力発電について学べるアトラクションのほか、実物大の太陽光パネルを使った模型など次世代エネルギーパークに関連する展示があります。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f8019/p537676.html>

神奈川県企業庁企業局利水電気部発電課 TEL.045-210-7294





平成20年度認定

山梨市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



木質バイオマスの宝庫で進む熱エネルギー利用のやまなしスタイル

面積の約8割を森林が占め、果樹生産も国内トップクラスの規模を誇る山梨市は、間伐材や果樹剪定枝などの木質バイオマス資源を再生可能エネルギーとして活用する取り組みを進めています。例えば、製材所でつくられる木質ペレットを、エコハウスやまなしなどの公共施設に設置したストーブや冷暖房設備に利用しているほか、万力公園ふれあい動物広場で飼育しているカピバラには万力林カピバラの湯(薪ボイラー)を設置。新たな取り組みとして、果樹の植え替えの際に発生する剪定木を薪ストーブの燃料として活用する実証事業も進めています。

おすすめ見学コース

次世代エネルギーパークの中心施設「エコハウスやまなし」の周りには、徒歩でも行ける距離に新エネルギー施設がいっぱい！少し足を延ばせば、くだもの狩りや温泉、ワイナリー・酒蔵巡り、森林セラピーも体験できます。

1 街の駅やまなし冷暖房ペレットボイラー

市内外問わず訪れた人が憩い、交流し、また各種情報の受発信基地として利用できる施設です。冷暖房ペレットボイラー、太陽光発電が設置されているだけでなく、レンタサイクルを借りることもできます。



2 エコハウスやまなし

環境にやさしい住宅の普及を目指したモデルハウスです。太陽光発電やエコ給湯だけでなく、太陽の光や熱、風の流れなどの自然の恵みも利用した、エネルギーをなるべく使わない工夫が施されています。



3 万力林カピバラの湯

万力林カピバラの湯は、万力公園内の剪定木(アカマツなど)を活用した薪ボイラーで温められています。園内には他の動物も飼育されていて、夏にはホタルが飛び交います。このほか、森林セラピーが体験できます。



4 飯島製材所

木質バイオマスの固形燃料「ペレット」の製造装置が見学できます。製材所から出る背板などの端材を有効利用。街の駅やまなしの冷暖房ペレットボイラーのほか、市内外で利用されています。



詳しい施設情報はこちら

http://www.city.yamanashi.yamanashi.jp/citizen/guide/garbage/environment/study_kouryuujigyou.html

山梨市役所環境課新エネルギー推進担当 TEL.0553-22-1111





平成23年度認定

富士の国やまなし次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



大自然を 楽しみながら、 再生可能エネルギー に触れる

明るい陽射し、清らかな水とそれを育む緑に恵まれた山梨県は、全県が次世代エネルギーパーク！内陸部最大規模のメガソーラーに併設するPR施設「ゆめソーラー館やまなし」を中心に、県内周遊を通じて、豊かな自然と、太陽光発電や水力発電など地域特性を活かした再生可能エネルギーが体験できます。日本一の富士山を背景に、おいしい水、澄んだ空気、心身共に温まる温泉や採れたての果実を楽しみながら、エネルギーについて学んでみませんか。

おすすめ見学コース

太陽光、バイオマス、水力と、様々なクリーンエネルギーについて体験しながら楽しく学べるコースとなっています。コースの間にはフルーツ狩りや温泉といった「山梨ならではの」も楽しめる、見所満載のコースです。

1 山梨県企業局発電総合制御所(クリーンエネルギーセンター)

体験を通して楽しく「水力」「太陽光」「風力」への理解を深めることができます。本物の水車・発電機があり、直接触れることも可能です。



2 米倉山太陽光発電所PR施設「ゆめソーラー館やまなし」

太陽光、水力等によるエネルギー自給自足型施設。太陽光発電、小水力発電、燃料電池などの再生可能エネルギー等について、展示、映像、クイズマシンやスゴロクで体感しながら楽しく学べる施設です。



3 街の駅やまなし(山梨市地域交流センター)

「山梨市次世代エネルギーパーク」としても認定されている施設。市内で造られる木質ペレットを利用した冷暖房ペレットボイラーによる足湯(無料)に入れます。



4 都留市家中川小水力市民発電所「元気くん」

古くから水力発電に利用されてきた家中川に整備された小水力発電所。3つの異なるタイプの水車が稼働しています。全国においても小水力発電の先駆けとなる発電所です。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.pref.yamanashi.jp/energy-seisaku/energypark.html>

山梨県エネルギー局エネルギー政策課 TEL.055-223-1503



自然環境に恵まれた「山紫水明」の地と新エネルギー体験アクションエリア

平成22年度認定

北杜市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

エネルギーパーク概要

世界に誇る
「水の山」へ。

北杜市

mizunoyama.com

市全体を新エネルギー体験が楽しく学べるアクションエリアに

自然豊かな北杜市の次世代エネルギーパークは、「太陽・水・緑」がコンセプト。その中心となる「北杜サイト太陽光発電所」は、国内外9カ国27種類の太陽電池モジュールを集め、発電特性の評価や大容量パワーコンディショナの開発を行い、現在の太陽光発電の普及に貢献する他、環境に負荷をかけない架台を設置している。このほか、「世界かんがい施設遺産」に選定された村山六ヶ村堰にある「北杜市村山六ヶ村堰水力発電所(クリーンでんでん)」や自然教育施設「オオムラサキセンター」、農村都市交流施設「三分一湧水館」などを中核施設として、市全体を一つのアクションエリアとしています。

おすすめ見学コース

「太陽」「水」「緑」「学び」の中核施設を巡るコース:

オオムラサキセンター～北杜サイト太陽光発電所～北杜市村山六ヶ村堰水力発電所～三分一湧水館



1 オオムラサキセンター

国蝶オオムラサキを通じて、自然環境について関心を高めることを目的とした自然教育施設です。ジオラマや世界中の蝶標本、映像室、生態観察施設「ひばりうむ」などがあります。里山体験や木工教室など体験も楽しめます。

2 北杜サイト太陽光発電所

NEDO実証研究施設として建設された約2MWの太陽光発電所、研究終了後は、市営の発電所として運営しています。引き続き、視察、見学フィールドとして受け入れを行っています。



3 北杜市村山六ヶ村堰水力発電所(クリーンでんでん)

千年以上の歴史を持つ農業用水路を利用した総落差85m、最大出力320kWの流れ込み式の水力発電所。村山六ヶ村堰は「世界かんがい施設遺産」に選定されました。



4 三分一湧水館

ミニ水力発電、風力発電、太陽光発電を設置。ハケ岳南麓の湧水の仕組みや水質のほか、民話や歴史を紹介しています。なお、「三分一湧水」は日本名水百選「ハケ岳南麓高原湧水群」の一つです。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.city.hokuto.yamanashi.jp/>

北杜市役所環境課新エネルギー推進担当 TEL.0551-42-1341

県内全域が次世代エネルギーパーク!



平成25年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

ふじのくにしずおか次世代エネルギーパーク



エネルギーパーク概要



新エネルギーを、 地域別・テーマ別により深く体験

静岡県では、恵まれた日照環境と豊かな水、森林資源を生かし、「太陽の都」、「水の都」、「森林(もり)の都」づくりを進める本県全域をエネルギーパークと位置付けています。地域ごとに特色ある自然資源を有することから、県内を「伊豆半島」、「東部」、「中部」、「西部」の4つのエリアに区分し、公共施設や民間事業所への導入が進む新エネルギー関連施設を、より身近なものとして見学・体験できるようにしています。また、静岡市や浜松市などの市町の次世代エネルギーパークとも連携しながら普及を進めています。

おすすめ見学コース

かつては南洋にあった火山島や海底火山の集まりで、プレートの北上に伴い、本州と衝突し誕生した伊豆半島エリアでは、ダイナミックな自然が生み出す多様な新エネルギー施設を体感することができます。

1 河津七滝小水力発電施設

河津七滝ジオパークの見所である初景滝とカニ滝。その間にある、景観に配慮した木製の水車です。観光客にも大人気の施設で、発電した電気は公衆トイレ入口の足元灯に使われています。



2 東伊豆町風力発電所

600kWの風車3基からなる発電所で、二酸化炭素の削減効果は年間2,100t。毎年夏休み期間に風車見学会が行われ、今までの見学者は累計で約14,000人にものぼります。



3 東伊豆町温泉発電施設

伊豆半島の特色ある自然エネルギーである温泉熱を活用した発電設備で、2014年3月に伊豆熱川駅前に設置されました。伊豆半島内の温泉発電普及に向けた技術的な課題と活用方法を検証している実証施設です。



4 奥野ダム管理用小水力発電施設

奥野ダムは洪水調整等を目的につくられたロックフィルダムです。ダムの管理機能強化を目的に2013年に小水力発電施設を設置、ダム湖は展望広場などが整備され、散策路として人気があります。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-150/enepark/index.html>

静岡県経済産業部エネルギー政策課 TEL.054-221-2949



平成26年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



静岡市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



観光スポットを楽しく 巡りながら再生可能 エネルギーを体感

市内で整備されてる17の再生可能エネルギー関連施設を盛り込んだ、官民連携による広域型の次世代エネルギーパークです。中心施設となる静岡市立日本平動物園は、動物の自然な生態を見られる行動展示が充実。そこに太陽光発電や風力発電を導入することで、「動物と環境について学べる環境教育施設」となっています。また、自然豊かな南アルプスユネスコエコパークや世界文化遺産「富士山」の構成資産「三保松原」に足を運んでいただくのもおすすめ。周辺にも再生可能エネルギー関連施設が点在しているので、自然や文化に触れながら体感することができます。

おすすめ見学コース

「日本平動物園」を見学して、日本平山頂でひと休み。富士山や三保半島を眺めながら「メガソーラーしみず」へ。最後は駿河湾を眺めながら「風電君」までシーサイドドライブ。「三保松原」や「久能山東照宮」にもぜひお立ち寄りを。

1 静岡市立日本平動物園

園内に設置された太陽光発電や風力発電施設を見学したり、動物園の人気者、ホッキョクグマの「ロッキー」と「バニラ」を観察したり、楽しみながら「動物」と「環境」について学習できるプログラムも用意しています。



2 メガソーラーしみず

中部電力株式会社が設置した8MWの太陽光発電施設です。展望施設では発電量などを確認でき、ここからの富士山の眺めもおすすめです。見学の申込みは、静岡市環境局環境創造課まで。



3 静岡市風力発電施設「風電君」

静岡市が設置した風力発電施設で2004年に稼働をはじめました。定格出力は1,500kWで、発電した電力は中島浄化センターへ供給。市街地からも近く、ランドマーク的な存在になっています。見学の申込みは、静岡市環境局環境創造課まで。



詳しい施設情報はこちら

http://www.city.shizuoka.jp/000_006690.html

静岡市環境局環境創造課 TEL.054-221-1077

国土縮図型都市の多彩なエネルギーラインナップ



平成24年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



浜松市次世代ダイバーシティエネルギーパーク

エネルギーパーク概要



多様な再生可能エネルギーを、地域やテーマごとに体感できる

日本トップクラスの日照時間と豊かな自然に恵まれた広大な市域全体をエネルギーパークに位置づけている浜松市。太陽光、太陽熱、風力、水力、バイオマスなどの多彩なエネルギーラインナップを「生活と環境」をテーマにした「シーサイドゾーン」、「太陽と風」をテーマにした「レイクゾーン」、「森と水」をテーマにした「フォレスト・リバーゾーン」に区分し、地域別・テーマ別に体験・体感・学習することが可能です。多様なエネルギーポテンシャルを一体的に発信することで、再生可能エネルギーのさらなる集積を図ります。

おすすめ見学コース

市の中心部から豊かな自然の中へ。太陽光発電、風力発電、バイオマス利用、水力発電など緑に囲まれた様々な施設を一日で見学できるコースです。(浜松駅よりスタート地点まで車で約45分)

1 浜松風力発電所

発電出力2,000kWの風力発電設備10基を設置しています。全高長(最高到達点)は119m。ローター径(ブレード回転直径)は82m。風速約12m/s時に定格出力20,000kWを発電します。



3 佐久間ダム

1956年に完成のコンクリート重力式ダムで、高さ155.5m、貯水容量32,685万m³、発電出力350,000kW、日本最大級の発電量を誇ります。ダムには電力館が併設され、エネルギーについて幅広く学ぶことができます。



2 浜松・いなさ太陽光発電所

市有地(引佐北部中学校の跡地)を利用した太陽光発電所。中山間地域の活性化や災害時に寄与する施設も整備されています。発電能力は1,000kW。2013年9月発電開始。



4 木質ペレット工場

日本三大人工美林と称される天竜木材の間伐材を利用したバイオマス燃料「木質ペレット」の製造拠点です。年間800tの木質ペレットを生産できます。



詳しい施設情報はこちら

http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shin-ene/new_ene/index.html

浜松市産業部エネルギー政策課 TEL.053-457-2502

04 地方別エネパ紹介 中部地方

▶見たいエネパをクリック！



P42

かなざわ次世代エネルギーパーク



P41

富山市次世代エネルギーパーク



P43

あいち新エネルギーパーク

P44

三重県次世代エネルギーパーク



立山あおぐ、未来へつなぐ次世代エネルギー体験



太陽光発電 バイオマス 小水力発電

平成23年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



富山市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



豊かな自然の エネルギーと伝統文化 を一度に体験

富山市では、豊富な包蔵量を誇る水力や、森林資源から生み出される木質バイオマスをはじめ、太陽光や循環型バイオマス燃料製造など、自然が豊かな地域特性を活かした多様な再生可能エネルギー施設を導入しています。小水力発電所の設置された常西合口用水沿いは、桜の名所となっており、4月上旬ごろには満開の桜と立山連峰を見ることができます。ほかにも市内には岩瀬地区の歴史的な回船問屋群の街並みや、養蚕や和紙の交易で町人文化を咲かせ、「曳山」等の伝統を伝える八尾など、自然と文化を堪能できるスポットが満載です。

おすすめ見学コース

木質ペレット製造施設から近接する2箇所の小水力発電所を巡り、最後は太陽光発電所へ。
豊かな自然を有する富山の地域特性を活かしたエネルギー施設をたっぷり体感できます。見学希望の方は各施設へ事前にご連絡ください。

1 木質ペレット製造施設

バイオマス資源の有効利用を目的として、2010年3月に建設されました。この製造施設では年間1,500tの木質ペレットの生産が可能です。

【見学申込】丸新志鷹建設(株)
木質ペレット工場 TEL.076-483-1220



2 常西公園小水力発電所

粉をひいたり、水をくみ上げたり、藁を打ったりと日本に昔からなじみの深い水車を再現した「開放型下掛水車」を回転させて発電する、小水力発電所です。

【見学申込】上滝公民館
TEL.076-483-1237



3 東町・東新町公民館小水力発電所

常西公園小水力発電所の約300m下流に整備されました。「S型チューブラ水車」を使用しており、高効率で発電することが可能です。

【見学申込】上滝公民館
TEL.076-483-1237



4 北陸電力(株) 富山太陽光発電所

再生可能エネルギー普及啓発のシンボルとして活用をはかるため、北陸電力(株)が富山市有地に建設。隣接したPR館ではエネルギーについて楽しく学べます。

【見学申込】北陸電力(株)
富山支店総務部総務地域チーム
TEL.076-405-1251



詳しい施設情報はこちら

<http://www.city.toyama.toyama.jp/kankyobu/kankyoseisakuka/ondankataisakukikaku/toyamasi-jisedai.html>

富山市環境部環境政策課 TEL.076-443-2053



エネルギー自立都市金沢の実現に向けて

平成26年度認定

かなざわ次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

エネルギーパーク概要

再生可能エネルギー
とともに、美しい
まちなみを守る

加賀百万石の城下町として栄えた金沢。藩政期から受け継がれた伝統文化と心づいており、城下町としての風情と美しさが色濃く残っています。また、豊富な水や森林資源にも恵まれ、大正期に創業した歴史を持つ全国唯一の市営水力発電のほか、最近では林地残材をごみ処理施設で混焼するバイオマス発電が稼働をはじめました。豊かな自然環境や歴史都市ならではの美しいまちなみの保全と、「金沢らしさ」を活かした再生可能エネルギーの導入を進め、「エネルギー自立都市金沢」の実現を目指しています。

おすすめ見学コース

「西部環境エネルギーセンター」、「城北水質管理センター」を見学し、芸術の息吹を肌で感じられる「市民芸術村」へ。赤レンガの中でランチのあとは、「戸室リサイクルプラザ」で豊かな自然を満喫してください。

① 西部環境エネルギーセンター

2012年稼働のごみ処理施設。最大7,000kWの発電が可能で、余剰電力は売電し、余熱は近隣の体育施設等で利用しています。「見て・ふれて・学べる」環境学習コーナーを完備した拠点施設です。



② 城北水質管理センター

下水処理の工程で発生するメタンガスを利用した消化ガス発電。発電出力は、最大200kWで、施設の年間電気使用量の1割以上をまかっています。また、放流工程や施設用地を活用した小水力発電や風力発電を行っています。



③ 金沢市民芸術村

赤レンガ造りの魅力的な建物を、演劇や音楽などの創作の場として活用。学生や市民団体に広く利用されています。また、防災拠点施設として太陽光発電を導入。発電出力は最大10kWであり、停電時にも活用できます。



④ 戸室リサイクルプラザ

3Rについての映像や展示等で楽しく学習できる施設です。太陽光で発電した電力によって施設の年間電気使用量の約半分をまかっているほか、太陽熱給湯で沸かしたお風呂も人気。市民の憩いの場となっています。



詳しい施設情報はこちら

http://www4.city.kanazawa.lg.jp/25001/seisaku/ondanka_boushi/saiene-dounyu/saiene-dounyuu.html

金沢市環境局環境政策課温暖化対策室 TEL.076-220-2507





あいち新エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



地域ごとの特色を活かした新エネルギーを学ぶ

あいち新エネルギーパークは、特色ある3つの地域で構成されています。知多地域は、メガソーラーや風力発電所、水素ステーションなど多くの新エネルギー関連施設があります。西三河地域は、新エネルギー技術の実用化を促す「新エネルギー実証研究エリア」をこの拠点あいちに開設。豊田市など世界に誇る自動車産業の集積地として、次世代自動車・交通システムなど低炭素社会実現にも取り組んでいます。風や日射量の豊富な東三河地域は、大規模な風力発電所や国内最大級の太陽光発電所を設置。各地域で多種多様な新エネルギーを学べます。

おすすめ見学コース

知多地域の新エネルギー関連施設を巡る見学コースです。

1 新舞子マリンパーク風力発電施設

海洋性レクリエーションの拠点である新舞子マリンパーク内に設置された施設。風車を間近で見ることができるため、訪れる人々への環境啓発に繋がっています。



2 F常滑太陽光発電所「SUNてらす常滑」

公共用地を利用したメガソーラーであり、一般家庭約330世帯分の電力を発電できます。また、地域の停電時に利用できるように、停電対応型設備を備えています。



3 中部国際空港「セントレア」

環境先進空港として、太陽光発電や天然ガスコージェネレーション等の設備を導入しています。



詳しい施設情報は [こちら](http://www.pref.aichi.jp/san-kagi/shinene/shinene_area2017/)

http://www.pref.aichi.jp/san-kagi/shinene/shinene_area2017/

愛知県産業労働部産業科学技術課新エネルギー産業G
TEL.052-954-6350

〈知多地域〉 ● セントレア水素ステーション ● 新舞子マリンパーク風力発電施設 ● 中部国際空港「セントレア」 ● F常滑太陽光発電所 (西三河地域) ● 新エネルギー実証研究エリア ● とよたEcoful Town (東三河地域) ● ソーラーファームとよはし ● 田原臨海風力発電所 ● 田原リサイクルセンター風力発電所 ● たはらソーラー・ウィンド発電所 ● 蔵王山展望台



三重県次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



多様な新エネルギー事業者と協働して環境教育を推進

太陽の日射量に恵まれ、風況も良く、また森林が県土の2/3を占めるなど、三重県は新エネルギーの資源が豊富であり、それらの資源を有効にエネルギー利用した施設や、水素社会の実現に向けて、先進的な取り組みをしている事業者がたくさんあります。

三重県では、そうした事業者が所有する新エネルギー施設を「三重県次世代エネルギーパーク」として位置づけ、連携を推進しています。

おすすめ見学コース

県内にある新エネルギー施設のうち、24カ所が三重県次世代エネルギーパークとして登録されています。このうち、代表的な風力、バイオマス熱利用、水素供給施設の各施設を見学できるコースです。

1 川越電力館テラ46 [中部電力(株)]

様々なエネルギーと環境について、見て・触れて、テーマパークのように楽しみながら学ぶことができる電力館です。



2 みえ水素ステーション四日市[みえ水素ステーション(同)]

みえ水素ステーション四日市に併設した普及啓発施設です。パネルや燃料電池の仕組み模型、移動式水素ステーションの実際の機材を見ながら説明を聞くことができます。



3 青山高原 風力発電施設 [(株)シーテック、(株)青山高原ウインドファーム]

標高800mの青山高原に設置された風力発電施設(2,000kW×67基、750kW×24基)です。山上からの景色はすばらしく、春のツツジ、秋のススキなどが親しまれています。



4 バイオマスボイラー施設[松阪木質バイオマス熱利用協同組合]

不要となった木材をチップ化してボイラーで燃焼させ、発生する熱蒸気熱量(255,000GJ/年)を近くの工場へ供給しています。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.pref.mie.lg.jp/ENERGY/HP/enepark/>

三重県雇用経済部ものづくり・イノベーション課 TEL.059-224-2316



05 地方別エネパ紹介 近畿地方

▶見たいエネパをクリック!



P46 東近江市次世代エネルギーパーク

P47 奈良県次世代エネルギーパーク

P48 大阪ベイエリア・堺次世代エネルギーパーク

P49 エネルギーパーク洲本

P50 ありだがわ次世代エネルギーパーク

P51 日高港新エネルギーパーク



再生可能エネルギーで地域に根ざした社会システムを構築

平成21年度認定

東近江市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

エネルギーパーク概要

次世代に美しい自然を
引き継ぐために
「協働」「体感」「発信」

東近江市では、栽培した菜の花から菜種油を製造し、廃食油をバイオディーゼル燃料に精製する「菜の花エコプロジェクト」に取り組んでいます。また、八日市商工会議所と東近江市商工会が、環境推進と経済循環により地域力アップを図る「東近江市Sun讚プロジェクト」を立ち上げ、市民共同発電所を設置しています。このプロジェクトは、売電益を地域商品券で還元するため、地域経済の好循環にも一役買っています。市民と「協働」して、未利用資源の活用や地域経済循環を「体感」し、その取り組みを全国に「発信」することで、さらなる地域活性化を図ります。

おすすめ見学コース

再生可能エネルギーを見て触れることができるだけでなく、菜の花を鑑賞したり、平和について学ぶことができます。あいとうふくしモールの農家レストランでは、地域産の野菜等を使った料理をお楽しみください。

1 あいとうエコプラザ菜の花館

「菜の花エコプロジェクト」の拠点として、バイオディーゼル燃料の精製やもみ殻の炭化を行う施設。見て触れて体感できる、体験型の学習を進めています。



2 滋賀県平和祈念館

県民の戦争体験を語り継ぎ、戦争の悲惨さや平和の尊さを学び、平和を願う心を育むための拠点となる施設。屋根には、東近江市Sun讚プロジェクトにより「ひがしおのみ市民共同発電所3号機」が設置されています。



3 あいとうふくしモール

食とエネルギーの自給、ケアの充足を目指した安心の拠点。農家レストラン、障がい者の働く施設、デイサービス・訪問看護を行う施設があり、屋根に共同発電所として太陽光発電設備、施設内に薪ストーブを設置しています。



詳しい施設情報はこちら

- ① <http://www.city.higashiomi.shiga.jp/0000006318.html>
- ② <http://www.pref.shiga.lg.jp/heiwa/heiwamuseum/>
- ③ <http://fukushi-mall.com>

市民環境部生活環境課 TEL.0748-24-5633



地球にも、地域にも貢献するエネルギーを目指して



平成26年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

奈良県次世代エネルギーパーク



エネルギーパーク概要



自治体・企業・市民が 分かちあう、再生可能 エネルギーのカタチ

南北に長く、地形や気候など自然環境も変化に富む奈良県。北部では自治体の水道施設を利用した小水力発電や、廃棄物の焼却熱によるバイオマス発電、南部では広大な土地を活かしたメガソーラーや、地元木材を活用した木質バイオマス発電など、地域に適した再エネ利用を進めています。また、自治体や企業のみならず、市民共同出資によるNPO法人や、地域活性を推進する地元の協議会など、多種多様な運営者の参加を実現。さらに、災害等での停電時に周辺地域へ電気を供給する取り組みや、住民参加による地域おこしへの利用など、再エネは様々な形で役立てられています。

おすすめ見学コース

県南部地区から中部地区にまたがる見学コース。
太陽光発電、小水力発電およびバイオマス発電という3種類の再エネ施設を1日で見学することができます。

1 近鉄花吉野ソーラー発電所

2014年に設置された、設備容量3MWの太陽光発電。災害等による大規模な停電がおきた時には、併設した電気自動車用急速充電器を通じて、太陽光で発電した電気を地域に供給します。



3 奈良県桜井浄水場

接合井と原水貯留池の標高差を利用した小水力発電を行っています。設備容量197kWで、発電した電気は施設運営の電源として使用しています。



2 (株)クリーンエナジー奈良 吉野発電所

2015年に完成した設備容量6,500kWの木質バイオマス発電所。林業は県南部の主要産業であり、伐採後に山に残っている間伐材等を利用して発電を行っています。



詳しい施設情報は
<http://www.pref.nara.jp/39282.htm>
奈良県エネルギー政策課 TEL.0742-27-8016

世界有数の次世代エネルギーを大阪でまると体感!



平成22年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



大阪ベイエリア・堺次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要

世界最先端の技術と 人材を誇る、次世代 エネルギー施設が集積

大阪は、世界最先端の「技術と人材」を誇る太陽電池やリチウムイオン電池などの関連企業や研究機関が集まるエリア。さまざまな次世代エネルギーの供給・開発施設を体感できます。こうした施設が集積する堺市内をはじめ、大阪府全体を一つの次世代エネルギーパークとし、「新エネルギーといえば大阪」というブランドイメージの確立を目指します。

堺エリア			
太陽光発電 堺太陽光発電所 メガソーラー (2011年～)	J-GREEN (グリーン)堺 太陽光発電設備 (2010年～)	大阪府立大学植物 工場研究センター 太陽光発電設備 (2011年～)	その他
バイオマス 株DINS堺バイオ エタノール事業所 木質系廃棄物による バイオエタノール製造 (2007年～)	日本ノボパン工業株 木質系廃棄物による 発電(2007年～)	関西西再資源 ネットワーク 廃棄バイオマスの 再資源化(2007年～)	その他
小水力発電 堺市上下水道局 桃山台配水場 小水力発電設備 (2007年～)	関西電力株 堺港発電所 天然ガスコンバ インドサイクル発電 (2009年～)	大阪ガス株 泉北製造所 LNG冷熱利用(冷熱 発電等1979年～)、 天然ガスコンバインド サイクル発電(2009年～)	その他
その他 リマテック株 産廃水プラントに よる廃棄物の再資源化 (2006年～)	堺市クリーンセンター 東工場 第二工場 一般廃棄物による発電 (1997年～)	堺市クリーンセンター 臨海工場 一般廃棄物による発電 (2013年～)	その他



堺市以外のエリア

- カーボン・ニュートラル・ステーション** (全国初)
阪急京都線・摂津市駅
【阪急電鉄(株)】
太陽光発電等によるCO₂削減・
排出量実質ゼロ(2010年)
- 小水力発電等(枚方市)**
村野浄水場
【大阪広域水道企業団】
階層水位差発電(1985年～)&
太陽光発電(2001年～)の導入
- 温度差熱利用(大阪市)** (全国唯一)
中之島三丁目プラント【(株)関電
エネルギーソリューション】
河川水熱エネルギーに100%依存
(2005年～)※経済産業省・NEDO
「新エネ百選」選定施設
- スマートエネルギーネットワーク**
hu+ MUSEUM【大阪ガス(株)】
建物でつくったエネルギー(太陽光発電・
太陽熱)を地域全体で融通する
「スマートエネルギーネットワーク」を構築。

※LNG(Liquefied Natural Gas)=液化天然ガス

おすすめ見学コース

大阪ベイエリア・堺次世代エネルギーパークには、メガソーラー発電所や安全で効率的な未来の農業を研究する大学など、エネルギーと地球環境について学べる場所がいっぱいあるよ。大阪・堺で新しい発見をしよう!

1 関西電力株式会社 堺港発電所

天然ガスを燃料とした最新鋭高効率コンバインドサイクル方式(ガスタービンと蒸気タービンの両方で発電)の火力発電所で、発電出力は200万kW。熱効率約58%と高水準です。



2 関西電力株式会社 堺太陽光発電所

大規模な太陽光発電施設。一般家庭約3,000軒分に相当する電力を地域に供給。発電出力は10,000kW(太陽光パネル約7万4千枚)、面積は約21万m²(甲子園球場約5個分)です。



3 大阪ガス株式会社 泉北製造所

都市ガスの製造、供給を行う大阪ガス(株)の主力工場。LNGのマイナス160℃の冷熱をランキンサイクル方式の冷熱発電や、空気液化分離などに利用。高効率のガスタービンコンバインドサイクル発電所も運用しています。



4 大阪府立大学植物工場研究センター

完全人工光型植物工場研究拠点。居室の全面LED照明化や、屋上緑化・太陽光発電・エアコンを組み合わせたエコハイブリッドシステムなど省エネ化を研究。



詳しい施設情報は

大阪府商工労働部成長産業振興室 新エネルギー産業課
TEL.06-6210-9295
<http://www.pref.osaka.jp/energy/beieria-enerugi-pa-k/index.html>

堺市環境局 環境都市推進部 環境エネルギー課
TEL.072-228-7548
http://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/gomi/ondanka/energy_park/energypark.html



レジャースポットで、再生可能エネルギーや資源循環を楽しく学ぶ



平成21年度認定

エネルギーパーク洲本

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

エネルギーパーク概要



ウェルネスパーク五色を拠点に巡る、再生可能エネルギーへの取り組み

エネルギーパーク洲本は、循環型社会を目指す取り組み「菜の花・ひまわりエコプロジェクト」関連施設が整備されている「ウェルネスパーク五色」を拠点として、バイオマス、風力発電、太陽光発電といった複数の再生可能エネルギー施設を見学することができます。ウェルネスパーク五色は、宿泊施設、温泉施設、レストラン、オートキャンプ場、ログハウス、スポーツ施設、遊具広場、体験工房などを備える複合レジャー施設。京阪神方面を中心に多くの方々にご利用いただいています。

おすすめ見学コース

ウェルネスパーク五色とその周辺では、菜種油やひまわり油を製造する工場、廃食用油をバイオ燃料にリサイクルする施設、竹を燃料とするバイオマスボイラー、大型風力発電、農業用ため池に浮かぶ太陽光発電施設など、多様な再エネ施設が見学できます。

1 菜種搾油施設

市内で栽培収穫した菜の花やひまわりの種を原料として、無添加一番搾り製法により風味豊かな食用油を製造しています。天ぷら油としても、オリーブオイルのようにご利用いただくことも可能です。



3 竹チップ焚きバイオマスボイラー

島内で急速に拡大し問題となっている竹林を、資源化によって適正管理するため、伐採しチップ化した竹を燃料として利用するバイオマスボイラーを設置。温泉水の加温に利用しています。



2 酵素触媒法BDF精製プラント

市内から分別回収した廃食用油を、軽油の代わりに使えるバイオ燃料(BDF)にリサイクルしています。全国でも珍しい「酵素触媒法」によって、高品質な燃料を安定して製造することが可能となっています。精製能力は約200L/日。



4 クリーンエネルギー五色風力発電施設

タワーの高さが65m、ブレードの長さが35mにもなる、出力1,500kWの大型風力発電施設1基が、淡路島西海岸を吹きぬける風を受け、一般家庭約900世帯分の電気を生み出しています。



詳しい施設情報はこちら

<http://enepa.city.sumoto.lg.jp/>

洲本市役所農政課 TEL.0799-24-7638



ありがわ次世代エネルギーパーク



エネルギーパーク概要



地域づくりへの 貢献を目指し、 再エネ事業が進化中

まちのシンボルとしての風力発電設備から、住宅等への太陽光・太陽熱利用設備の補助制度、行政や事業者の再エネ事業へ。有田川町の取り組みは、地域に活かされるものへとシフトしています。次世代エネルギーパークでは、町民はじめ多くの人々が再エネを身近に体験・体感する機会を増やし、より一層の導入促進や啓蒙啓発を図るとともに、再エネ先進都市を目指す有田川町のすがたを広くPR。みんなが暮らしたい「ありがわというエコのまち」実現に向け、住民・事業者・行政が一体となって取り組んでいます。

おすすめ見学コース

町営二川小水力発電所を起点に、再生可能エネルギー発電設備を導入している里山の絶景地点や渓谷の高台にある温泉、まちを見渡せる高台を巡る、有田川町の再エネ施設の見学と名所の観光を両立したコースです。

1 町営二川小水力発電所

有田川にある二川ダムでは、毎秒約0.7tの維持放流が行われており、このエネルギーを利用して町が建設しました。最大出力は200kWで、発電で得た売電益は住民のエコ活動の支援や町再エネ事業に活かしていきます。



3 かなや明恵峡温泉

深い山々に囲まれた有田川の渓谷「明恵峡」を望む高台にある温泉です。昼は有田川の清流や山々が、夜は頭上に広がる満天の星空が堪能できる、趣きある立地。屋根には30kWの太陽光発電設備が設置されています。



2 あらぎ島

日本の棚田百選に選ばれ、国の重要文化的景観にも指定されている写真愛好家にも人気のスポットです。冬場にはソーラーLEDライトであらぎ島が幻想的に浮かびあがる、“エコ”なイルミネーションが楽しめます。



4 ユーラス有田川windファーム

長峰山脈の尾根に沿った東西約2kmにわたる合計出力13,000kWの風車群です。(株)ユーラスエナジー有田川が運営し、一般家庭約7,800世帯相当分の電力を供給。年間24,800トンのCO₂削減効果が見込まれます。



詳しい施設情報はこちら

http://www.town.aridagawa.lg.jp/kakuka/kankyo_eisei

有田川町建設環境部環境衛生課 TEL.0737-52-2111(代)



多彩な次世代エネルギーを楽しみながら一度に体感!



太陽光発電 風力発電 水力発電

平成19年度認定

エネルギーパーク 全体計画書ダウンロード

日高港新エネルギーパーク (愛称:EEパーク)



エネルギーパーク概要



ソーラーカードライブで太陽光発電の力を体感

EEパークには、太陽光、風力、水力、そして小型ハイブリッド発電設備が設置され、さまざまな次世代エネルギーを体感できます。全長120mのソーラーカーコーナーでは、太陽光パネルを装備したカートで、子どもから大人まで安全なソーラーカードライブが楽しめます(天候により、ご利用できない場合があります)。「PR館」では、新エネルギーの解説と、御坊市や周辺エリアを紹介。次世代エネルギーの可能性や未来像を見て・学んで・体感していただくことができます。

おすすめ見学コース



1 日高港新エネルギーパークPR館

自然の力の営みや新エネルギーの原理を用いた未来の街のイメージを、ジオラマ・オブジェで表現した「ネイチャーエナジータウン」を展示。新エネルギーについてゲーム感覚で学べるクイズコーナーもあります。

2 日高港塩屋緑地(Siotrup)

EEパークに隣接する日高港塩屋緑地(Siotrup)は親水池を取り囲む緑地公園となっております。公園内には「水木しげるが描くゲゲの鬼太郎と和歌山の妖怪」像が設置され、憩いの空間を創出しています。



大阪方面からのお越しの場合:御坊ICから15分
※御坊南ICでは降りられません。
田辺方面からお越しの場合:御坊南ICから10分
※御坊ICでは降りられません。

詳しい施設情報はこちら

<http://www.city.gobo.wakayama.jp/kankojoho/manabu/eepark/1395194330221.html>

EEパークPR館 TEL.0738-20-9001/FAX.0738-20-9002

006 中国地方

▶見たいエネパをクリック！



P53 とっとり次世代エネルギーパーク

P54 真庭市地産エネルギーパーク

P55 出雲市次世代エネルギーパーク

P56 福山市次世代エネルギーパーク

P57 北広島町次世代エネルギーパーク

P58 周南市次世代エネルギーパーク

P59 ときわ公園次世代エネルギーパーク





豊かな自然の恵みがもたらすエネルギーの宝庫とっとり

平成25年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

とっとり次世代エネルギーパーク



エネルギーパーク概要



再生可能エネルギーと観光資源で、地域を活かす

豊かな自然や変化に富んだ地形は、太陽光、風力、水力、バイオマス、雪氷熱、地熱等の多種多様な再生可能エネルギーを生み出します。その中核となるのは、本州最大級の大規模太陽光発電所「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク(42.9MW)」のガイダンス施設「とっとり自然環境館」です。県域全体を1つのエネルギーパークとして位置づけることで、自然が生み出す再生可能エネルギーの恩恵を県民自ら認識し、意識を高めます。また、これらのエネルギー施設と、豊かな自然や観光資源とを連携させた環境学習を行い、地域の活性化を図ります。

おすすめ見学コース

エネルギー施設(太陽光、風力、雪氷熱、地熱等)と、大山をはじめエネルギーを生み出す鳥取の豊かな自然を実感できます。雄大な「伯耆大山(ほうきだいせん)」の眺めや、風車が立ち並ぶ日本海沿いのドライブをお楽しみください。

1 とっとり自然環境館、ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク

「とっとり自然環境館」では、専門職員が隣接する「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク」(上方写真右上)を年中無休でご案内。鳥取県の再生可能エネルギーや環境保全活動に関する情報も紹介しています。



2 サントリープロダクツ(株)天然水奥大山ブナの森工場

奥大山の特性を活かした雪室(ゆきむろ)を利用し、生産設備の冷却などを行っています。



3 北条砂丘風力発電所

日本海と並行して並ぶ9基の風車は、国道を走るドライバーの気分を爽快にします。



4 協和地建コンサルタント(株)湯梨浜地熱発電所

東郷温泉の約84℃の源泉を利用する、中四国地方初の地熱発電所です。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.pref.tottori.lg.jp/223773.htm>

鳥取県生活環境部環境立県推進課 TEL.0857-26-7895



木質バイオマスの先進地から資源循環型社会へ

平成19年度認定

真庭市地産エネルギーパーク



エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



エネルギーパーク概要



真庭バイオマス発電所見学風景

真庭市の地域資源の活用を「バイオマスツアー」で体験

中国山地のほぼ中央に位置する真庭市は古くから木材業が盛んで栄えたまち。地域資源の一つである木材を有効に利用し、資源循環型社会の実現に向けた木質バイオマス活用の先進地を目指しています。

そんな、バイオマス産業都市“真庭”の全容を効率よく見学できる「バイオマスツアー真庭」が人気。2017年6月よりコースを全面リニューアル。「Aコース木質バイオマスコース」ではバイオマス発電所の見学をはじめ、森林資源循環の仕組みを紹介。「Bコースバイオマス循環農業コース」では環境負荷の少ない循環型の真庭の暮らしを紹介します。

おすすめ見学コース

真庭市全域のバイオマス活用施設での取り組み全体がエネルギーパークの認定を受けています。市役所担当課による全体概要説明からツアースタート。ツアー中は、専門ガイドが同行し、各施設では、現場担当者が分かりやすく説明します。見学先も増加し益々充実しています。

Aコース:木質バイオマスコース

1 真庭バイオマス発電所と真庭バイオマス集積基地

地域の未利用木材や製材端材、樹皮などを主燃料とする1万kWのバイオマス発電施設です。地域木質資源燃料によるバイオマス発電のしくみをご覧ください。近くに原料の供給拠点もあり、併せてご見学いただけます。



真庭バイオマス集積基地

2 銘建工業CLT工場 (オプション料金1,000円必要)

中高層建築物を木造で建てられるとされる、将来性のある新たな建築材料として、CLT(直交集成板)にいち早く取り組んできた製造現場をご覧ください。※(注意)毎月第3週～第4週の火曜・木曜のみ見学可



CLT(直交集成板)

Bコース:バイオマス循環農業コース

3 メタン発酵による液肥製造プラント

一般家庭の生ごみを分別回収し、メタン発酵させ消化液肥の製造を行っています。農家の利用も増え、水田や畑などで液肥の利用が進んでいます。



メタン発酵プラント

4 バイオマス肥料の米・野菜生産農家

バイオマス活用の液肥を使用する農家を訪ね、米や野菜への活用についてご説明します。直売所では農作物のお買い物もできます。ツアー終了後は、美人の湯としても名高い湯原温泉へのご宿泊もおすすめです。

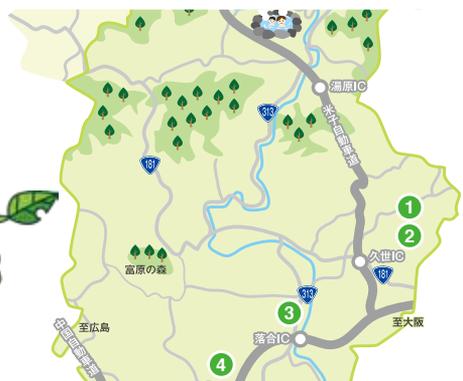


液肥使用の圃場

詳しい施設情報はこちら

<http://biomass-tour-maniwa.jp/>

一般社団法人真庭観光局(旅行企画実施:岡山県知事登録旅行業地域-367号) TEL:0867-44-1100
・1日目(基本コース)Aコース(木質バイオマスコース) Bコース(バイオマス循環農業コース)
・2日目(2日目専用オプションコース)6コースのオプションからご希望の見学内容をお選びいただけます。
・料金は、日帰り基本コース:8,000円。2日目オプションコースは6,000円(宿泊代別途)。(バス代、資料代、昼食代、企画費含む)



「神話の國出雲」の自然から生まれる恵み

平成20年度認定

出雲市次世代エネルギーパーク



エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



エネルギーパーク概要



自然エネルギーに感謝 をこめて、観光気分で パークを散策

海からの「風」、天からの「光」、山からの「木」など様々な自然の恵みから、暮らしを支える電気等が生まれることを体験できるエネルギーパークです。美しい日本海を望む日本最大級の風力発電所「ユーラス新出雲ウインドファーム」や、市民に人気の「キララトゥーリマキ風力発電所」、木質チップボイラーによる温浴施設「出雲須佐温泉ゆかり館」など見どころがいっぱい。理科学習の拠点「出雲科学館」など、科学や環境について学べる施設も充実しています。自然から生まれたエネルギーに感謝し、「神話の國」を散策する、そんな一日を過ごしてみませんか。

おすすめ見学コース

市営のキララトゥーリマキ風力発電所をスタートして南へ向かい、地元産の木質チップをボイラーで焚く出雲須佐温泉「ゆかり館」へ。北進して再び日本海を目指す日本最大級の出力を誇る風車群が見えてきます。

① キララトゥーリマキ風力発電所

市が運営・管理するこの風力発電所は、友好姉妹都市フィンランド風の外観を持つ道の駅「キララ多伎」に隣接して立っています。冬の日本海の厳しい風に向かってたくましく回る姿は、出雲の西玄関の風物詩です。



② 出雲須佐温泉「ゆかり館」木質チップボイラー

『出雲国風土記』において、スサノオが「この国は小さい国だがよい国だ。自分の名前は、岩木ではなく土地につけよう」とおっしゃり命名された「須佐」郷。木質チップボイラーで焚く温泉で、心から温まりパワー充填を!



③ ユーラス新出雲ウインドファーム

青い日本海を望む26基の風車群は、日本最大級の合計出力7万8千kWを誇ります(株)新出雲ウインドファーム運営)。十六島(うつぶるい)風車公園から市道十六島釜浦線を通ると、力強い風車を間近で体験できます。



④ 出雲大社

縁結びの神として知られる大国主大神を祀り、旧暦十月十日に全国八百万の神々をお迎える出雲大社。60年ぶりの大遷宮で御本殿も新しく生まれ変わり、門前町「神門通り」にも多くのお客様をお迎えしています。



詳しい施設情報はこちら

[http://www.city.izumo.shimane.jp/
www/contents/1317175318288/](http://www.city.izumo.shimane.jp/www/contents/1317175318288/)

経済環境部 産業政策課 TEL.0853-21-6549

エネルギー・環境を学び観光する「環境観光都市」へ

平成23年度認定

福山市次世代エネルギーパーク



エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



エネルギーパーク概要



地球環境と調和する社会を、観光で学ぶ

環境学習の拠点施設である福山市リサイクルプラザでの体験講座や、太陽光・風力発電設備、リサイクル施設等の見学により、地球環境と調和した自然共生社会・循環型社会・低炭素社会を体感。身近にできる環境にやさしい取組を学ぶことができます。また、これらを観光資源として広く周知することで誘客を図り、観光を通じて環境の保全と創造を体感できる「環境観光」の取り組みを進めています。

【主な事業内容および施設】
● 箕島浄水場 (太陽光180kW) ● 福山市汚泥再生処理センター (し尿、浄化槽汚泥の再資源化施設、太陽光100kW) ● 神原ロジスティクス福山物流センター (太陽光2,008kW) ● JFEブラジノース (株) 福山原料化工場 (プラスチックごみの再資源化施設、太陽光12kW) ● JFE環境 (株) (太陽光50kW)

おすすめ見学コース

資源は無限ではありません。本パークでは、ごみもエネルギー資源として再利用できること、自然の恵みをエネルギーに変えられることを見て、触れて、実感することで、環境への関心を深め、エコをめざす学習ができます。

1 福山市リサイクルプラザ・リサイクル工場

「低炭素」「循環型」「自然共生」の3テーマを体験しながら学べる環境学習の拠点施設。隣接するリサイクル工場では容器包装プラスチックからの高純度なベール品の生産と、不燃・粗大ごみの処理工程が見学できます。



2 福山市ごみ固形燃料工場・福山リサイクル発電所

家庭から出された燃やせるごみを破碎・乾燥し、ごみ固形燃料(RDF)を製造する工程が見学できます。また、隣接する福山リサイクル発電所では、RDFをガス化、燃焼、熔融し高効率発電を行っています。



3 中国電力(株)福山太陽光発電所

中国地方初のメガソーラー(3,000kW)。太陽電池パネル16,544枚で一般家庭約1,000世帯の年間使用量に相当する電力を発電しています。道路沿いの見学展望台から自由に見学できます。



4 (株)エフピコ 福山リサイクル工場

簡易食品容器のメーカーとして独自のリサイクルシステム「トレーtoトレー」の循環型リサイクルを確立しました。工場では食品トレーのリサイクル全容と透明容器の選別工程が見学できます。



詳しい施設情報は [こちら](http://fukuyama-energypark.com/)
<http://fukuyama-energypark.com/>
福山市経済環境局環境部環境啓発課 TEL.084-954-2619

豊かな自然の財産を活かす、未来につながるまちづくり

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

平成21年度認定

北広島町次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



四季折々の風景の中で次世代エネルギーを体験できるパーク

2009年6月1日に「新エネ百選」に選定された庁舎太陽光発電システムと川小田小水力発電をはじめとした、豊かな自然を活かした施設が中心。そのほかにも、家庭から出る廃油を使ったバイオディーゼル燃料や、地元木材を熱利用する「せどやま再生事業」など、民間事業者の取り組みと合わせて、町ぐるみでエネルギーパークを構成しています。「自然を生かす環境づくり」「新エネルギーを活用する環境づくり」「みんなで生かすECOエネルギーづくり」の3本柱で、だれもが楽しく学べる場を創出しています。

おすすめ見学コース

地域が育ててきた森、清流、里山、田畑などの豊かな自然の恵み。それをまちづくりの貴重な財産として、将来にわたって継承することができるよう、地域ごとに特色のある自然エネルギーの活用に取り組んでいます。

1 庁舎太陽光発電

二酸化炭素の削減、庁舎光熱費の削減、新エネルギーの普及啓発を目的に、庁舎屋上へ100kW、壁面へ58kWの発電能力を有するパネルを設置。パネルのデザインには「未来へ羽ばたく」という意味が込められています。



2 わさ環境公園

バイオディーゼル燃料の製造を行っています。町内各地に廃食用油回収ステーションを設置し、回収した廃食用油からバイオディーゼル燃料(BDF)を製造。町内巡回バスの燃料として使用しています。



3 せどやま再生事業

裏山整備で搬出された木を薪に加工し、ストーブなどの燃料に利用しています。流通には地域通貨を活用。山林の景観および生態系の保全、地域経済の活性化、エネルギーの自給自足を目指すプロジェクトです。



4 川小田小水力発電所

本地域に存在する豊富な水資源や急峻な地形を生かして、最大出力720kWの小水力発電を2003年に建設。電力は地元温泉施設等で利用し、農業振興や都市農村交流を推進しています。



- 1 ● 車で30分
- 2 ▼ 車で60分
- 3 ● 徒歩で30分
- 4 ▼

詳しい施設情報はこちら

<http://www.town.kitahiroshima.lg.jp/chominka/sinene.html>

北広島町役場町民課 TEL.0826-72-2111



太陽光発電/太陽熱利用 風力発電



エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



楽しみながら再生可能エネルギーを学べる「環境立市」のシンボル

平成22年度認定

周南市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



動物と次世代エネルギーを 観る、地球環境が テーマの動物園

豊かな自然を次代に引き継ぎ、地球に負担をかけない環境にやさしいまちを目指す周南市。その観光拠点である徳山動物園では、観光型動物園への全面リニューアルに着手しています。まちなかのコンパクトな動物園として生態系のすばらしさや人間社会との関わりを再現する「動物展示」と、次世代エネルギー装置などの「エコロジー展示」を組み合わせ、地球環境から身近な日常までを「エネルギー」という一つのテーマで結びます。また水素先進市として液化水素ステーションを設置し、環境への理解を深める機会を提供していきます。

おすすめ見学コース

2頭のスリランカ象を展示する「徳山動物園」、リサイクル施設「ペガサス」、自然エネルギーで回るゆめ風車などを見学。楽しく環境問題が学べます。産業観光ツアーや周南コンビナート夜景ツアーも開催しています。

1 徳山動物園

ケージ型の動物舎が隣接しているため、小さな子供たちでも無理なく観てまわれます。動物たちが間近で観察できる工夫のほか、わかりやすい解説パネルも設置。隣接する住宅展示場ではエコロジー住宅設備が見学できます。



2 周南リサイクルプラザ「ペガサス」

資源循環型社会を推進するための施設。資源ごみは機械選別や手選別を経て圧縮梱包等の中間処理を行います。また、燃やせないごみ、不燃性粗大ごみからも資源物を回収し、再資源化に取り組んでいます。



3 ゆめ風車

姉妹都市のオランダ風車をモデルに建設した、実際に粉が挽ける本格的な八角形のバルコニー付風車です。風車守が羽根を風上に向けることで羽根が回転。その力が上部の歯車から主軸の歯車へと伝わり、石臼を回します。



詳しい施設情報は

<http://www.tokuyamazoo.jp/>

周南市徳山動物園 TEL.0834-22-8640



平成24年度認定

ときわ公園次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



エネルギーの歴史を 伝え、目指すべき 未来を体験

ときわ公園は、「環境・芸術・スポーツ・福祉」の融合した先進的なモデル公園を目指し、様々な取り組みを行っています。その一つが次世代エネルギーパークです。古くは炭鉱で知られた宇部市。宇部炭発祥の地である常盤湖畔には、日本で初めての石炭記念館があります。そこで、新たに整備する再生可能エネルギー施設を連携させ、石炭から再生可能エネルギーへ「目で見えて触れて、学び、遊べるエコパーク化」を推進しています。

おすすめ見学コース

園内の主要施設に太陽光発電を設置しているほか、施設の用途・特徴に応じて風力発電、木質ペレットボイラーを整備。稼働状況はモニター画面等で確認できます。電気自動車やBDF清掃車は公園の管理車両として活躍しています。

1 ときわ湖水ホール

常盤湖畔に建つカルチャーホール。400名収容のイベントホールや会議室、レストランを備えています。併設のアートギャラリーでは定期的に企画展を開催しています。



2 石炭記念館

館内には約3千点の機材と資料が展示され、地下には採炭場を再現したモデル坑道もあります。また、地上37mの展望台からは眼下に常盤湖や瀬戸内海、九州、四国の山々が眺望できます。



3 ときわ動物園

グランドオープンした動物園は、生息地の環境を再現した「生息環境展示」という展示手法を採用。お客様が、あたたかもアジアや中南米、アフリカを旅行して、動物と出会い観察できるような空間としています。



4 ときわミュージアム

季節ごとに違った表情を見せる植物と彫刻を備えた複合博物館。原産地の植生を意識した展示の世界を旅する植物館や国際的な野外彫刻コンクールが開催されるUBEビエンナーレ彫刻の丘などが併設されています。



詳しい施設情報はこちら

<https://www.tokiwapark.jp/>

宇部市公園整備局公園緑地課 TEL.0836-51-7252

07 地方別エネパ紹介 四国地方

▶見たいエネパをクリック！



P61 土庄町次世代エネルギーパーク

P62 阿南市次世代エネルギーパーク

P63 とうおん次世代エネルギーパーク

P64 まつやま次世代エネルギーパーク

P65 えひめ次世代エネルギーパーク



瀬戸内海に浮かぶ島から新エネルギーを発信



エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



平成21年度認定

土庄町次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要

小豆島と豊島に
新エネルギーを
導入し、環境との
調和を考える

香川県を代表する観光地である小豆島と、隣の豊島に新エネルギーを導入し、町民および来町者に対して効果的に普及啓発する計画です。土庄町は環境に配慮するまちづくりを進め、地球環境と調和した将来のエネルギーのあり方について、理解の増進を図っていきます。

おすすめ見学コース

まず、土庄中学校に設置している小型風力・太陽光発電装置をご見学。

その後、回収した食用廃油をバイオディーゼル燃料に製造する装置等をご見学ください。(事前に連絡が必要です)



① 土庄町立土庄中学校

2009年に小型風力・太陽光ハイブリッド発電システムを設置。環境学習拠点として、自然エネルギー等についての授業を行っています。



② 小豆島グランドホテル水明

回収した廃食用油(使用済み天ぷら油)からバイオディーゼル燃料(BDF)を製造し、車の燃料等としての再利用に取り組んでいます。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.town.tonosho.kagawa.jp/>

土庄町役場企画課 TEL.0879-62-7014

新エネルギーを軸とした地域の連携、活性化へ



太陽光発電/太陽熱利用 風力発電 バイオマス

平成20年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

阿南市次世代エネルギーパーク



エネルギーパーク概要



市内の7施設を拠点に「市民参画型パーク」を目指す

7つの施設を拠点に、資源循環型の地域づくり、市民参画型のパークづくりに取り組んでいます。

- ①省CO₂、エコ設計の新庁舎「阿南市役所」。
- ②高効率ごみ発電を行うごみ処理施設「エコパーク阿南」。
- ③エネルギー教室などを実施する「阿南市科学センター」。
- ④太陽熱利用設備を整備予定「道の駅・公方の郷なかがわ」。
- ⑤コスト改善を実現した新エネルギー導入事例「王子製紙(株)富岡工場」。
- ⑥年間6万人以上が来園する電気と科学の体験学習施設「ワンダーランド」。
- ⑦風力発電で海風と共生、年間4万人が利用する「かもだ岬温泉保養センター」。

おすすめ見学コース

新しいごみ処理施設「エコパーク阿南」と、隣接する「ワンダーランド」では、循環型社会への取り組みを工場見学や環境学習設備などでわかりやすく説明。体験型の設備も多く、一日中楽しみながら学べると好評です。



1 エコパーク阿南

2014年4月より稼働した新ごみ処理施設「エコパーク阿南」では、循環型社会の形成を目指し、高効率ごみ発電システム、太陽光発電・風力発電の設置、熔融スラグのリサイクル、環境学習設備による啓発活動に取り組んでいます。[JR阿南駅から車で約25分、国道55号線経由(約13km)]



2 Waンダーランド

体験型公園施設である「ワンダーランド」では、発電のしくみや科学のふしぎを様々な施設や展示で紹介。エネルギーがどのように作られ、家庭に届くかを様々な体験型展示施設で学ぶことができます。芝生の公園や屋内ホールも併設され、一日中楽しめます。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.city.anan.tokushima.jp/>

阿南市産業部企業振興課 TEL.0884-22-3401

人も環境も、健やかな未来をめざして



太陽光発電 バイオマス

平成25年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



とうおん次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



再生可能エネルギーを、テーマ別により深く体験

東温市は、「環境と健康」を最重要施策とし、持続可能な循環型社会と位置づける「東温市環のまちづくりプロジェクト」を推進しています。その一部である『とうおん次世代エネルギーパーク』は、東温市役所を中心に市内全域がそのフィールド。「環境」と「防災」の視点から市内全域に整備された再生可能エネルギー設備を見学するとともに、それを有効活用することによって創成されつつある循環型取組を学べます。こうした経験から地球環境にやさしい次世代エネルギーのあり方を多くの人に感じてもらうことを目指しています。

おすすめ見学コース

環境に優しい自転車で巡るコース。太陽光や木質バイオマス、BDF(バイオディーゼル燃料)など多様な再生可能エネルギーの活用が見学できます。自転車がない方は、電車駅近くのレンタサイクルショップをご利用ください。

1 防災センター(消防署併設)

「環境」と「防災」の視点から再生可能エネルギー設備を見学するための出発点です。併設する消防署には太陽光発電設備(容量10kW)のほか、雨水利用システムや高効率照明器具が採用され、環境に配慮されています。



3 いよてつ東温ソーラー発電所[伊予鉄道(株)]

年間に発電する電力量は約120万kWh。これは一般家庭約300戸分となり、伊予鉄道の運営する路面電車の消費電力量の約40%に相当します。(施設内見学は要相談になります)



2 ジャパン アグリ コスモ [(株)コスモ精機]

ビニールハウス内は自動空調となっており、CO₂対策としてエコボイラを導入。環境に優しい農業への取り組みにより、季節ごとにドラゴンフルーツやマンゴー等のトロピカルフルーツがのびのびと育っています。



4 学校給食センター

2007年4月から、市内の学校等に約3,500食の給食を提供しています。調理にはBDFボイラを使用しているほか、太陽光発電設備(容量10kW)やペレットストーブを設置するなど、環境に優しい施設です。



詳しい施設情報はこちら

http://www.city.toon.ehime.jp/life/life_theme/kankyo/newene/newene/enepa.html

市民福祉部 環境保全課 新エネ推進係 TEL.089-964-4415

太陽を中心に地域一丸で進める「松山サンシャインプロジェクト」



太陽光発電 水力発電 バイオマス

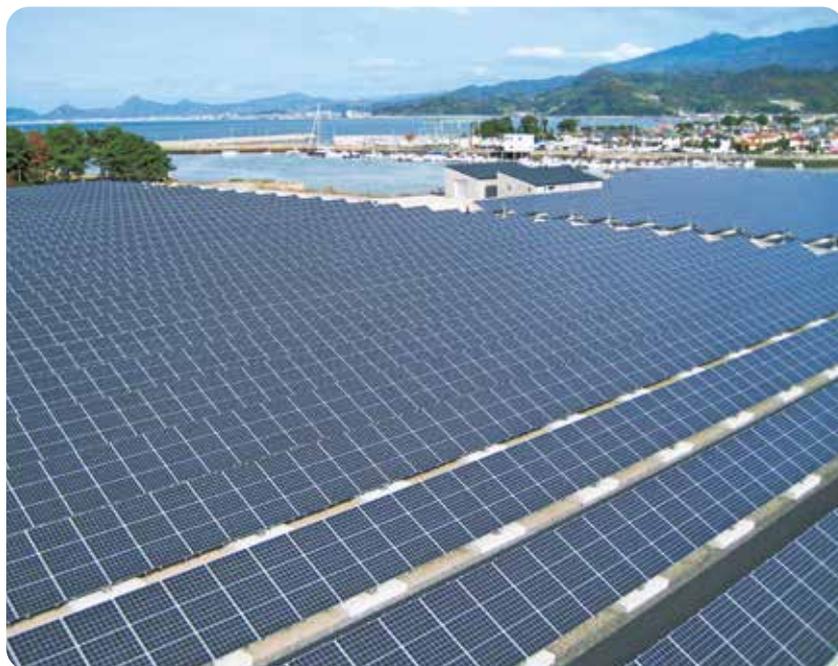
エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



平成22年度認定

まつやま次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



官民一体で 新エネの理解と 環境保全を目指す

松山市では、太陽エネルギーの活用を核に「脱温暖化」と「産業創出」を図る「松山サンシャインプロジェクト」を推進中です。市内各地に設置された公共の新エネルギー設備だけでなく、民間企業の発電所や工場などソーラー関連企業の施設などをルートに加える事により、官民一体となって、新エネルギーの生産から活用までの一連の流れが理解できるよう計画しています。また、新エネルギーや環境保全について理解を深められるように、小学生などを対象とし、ソーラーカーやソーラーパネルを活用した体験型の環境教室を開催しています。

おすすめ見学コース

公共施設に設置された太陽光発電システムやメガソーラー発電所、ソーラー関連企業の工場など、太陽光発電に関する施設を見学できます。また、松山市中央浄化センターに設置されたマイクロ水力発電設備も見学可能です。

① 四国電力株式会社 松山太陽光発電所

最大出力2,042kWのメガソーラー発電所です。年間発電電力量は約250万kWh(約960世帯分)で、年間約800tのCO₂排出量が削減可能。外側から自由に見学できます。(施設内見学は要事前予約。団体のみ)



② 株式会社エヌ・ピー・シー 松山工場

太陽電池製造装置のトップメーカーであり、パネルの検査サービスやリユース/リサイクルサービスも提供。松山工場には国内太陽電池メーカー9社のパネルが設置されており、地元小学生を対象とした『太陽電池教室』を毎年開催しています。



③ まつやまRe・再来館(りっくる)

太陽光発電システムを設置している松山市の施設です。新エネ・省エネだけでなく、ごみ減量やリサイクルなど、環境についてみんなで楽しく考え、体験できるほか、リサイクル家具の展示販売なども行っています。



④ 松山市中央浄化センター

センター内に、下水の処理水を利用した「マイクロ水力発電」、処理過程で発生する消化ガスを利用した「消化ガス発電」を設置。発電設備と合わせてセンター内の見学もできます。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/>

環境モデル都市推進課 TEL.089-948-6960

メガソーラーから特産品を活かしたバイオマスまで。愛媛の愛あるエネルギー!



平成23年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

えひめ次世代エネルギーパーク



エネルギーパーク概要



地域の特性を活かしたユニークな取り組み

愛媛県には、次世代エネルギーに関する先進的施設が集積。特に、日本一のタオルの生産地・今治のタオル工場から出る繊維くずをバイオ燃料にする「今治コットンリサイクルプロジェクト」など、地域特性を踏まえたユニークな取り組みが進行中です。主要な施設は車で1時間半圏内と見学しやすいのも特徴。新エネルギー関連施設を巡って意識啓発を行う県主催の「新エネルギー見学会」にも積極的に活用しています。

おすすめ見学コース

松山市を中心に、メガソーラー発電所やバイオ燃料製造施設などを車で回るコース。

初めに「えひめエコ・ハウス」でエネルギー全般について学んだ後、各施設を見学。効果的に再生可能エネルギーが体験・学習できます。



1 えひめエコ・ハウス

県体験型環境学習センター「えひめエコ・ハウス」には、太陽光発電システムや太陽光熱利用システム、マイクロ風力発電施設を設置。スタッフがご案内します。

2 ダイキアクシスバイオディーゼル燃料製造工場

一般家庭や飲食店、食品加工工場から出る廃食用油を原料にして生み出されるバイオディーゼル燃料。本施設は西日本有数のバイオディーゼル燃料の製造工場です。



3 四国電力松山太陽光発電所

出力2,042kWの四国初のメガソーラー発電所です。

詳しい施設情報はこちら

http://www.pref.ehime.jp/h30100/1196712_2239.html

愛媛県経済労働部産業政策課 TEL.089-912-2477



088 地方別エネパ紹介 九州地方

▶見たいエネパをクリック！



「低炭素」「資源循環」「自然共生」の3要素が連携した未来のまち



太陽光発電



風力発電



バイオマス



小水力発電

・コージェネ

平成19年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



北九州次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



現在から未来まで、 様々なエネルギーの あり方を見学

北九州市若松区響灘地区では、「低炭素(次世代エネルギーパーク)」「資源循環(北九州エコタウン)」「自然共生(響灘ビオトープ)」の3要素が連携した環境拠点「響灘エコフロンティアパーク」を展開。低炭素を担う次世代エネルギーパークには、多種多様なエネルギー施設が集積。暮らしを支えるエネルギー供給基地や、太陽光・風力発電などの自然エネルギー施設、バイオマス、企業間の連携や革新的技術開発など、様々なエネルギー供給・活用のあり方が学べます。環境への取り組みを楽しく体験できる「環境修学旅行」も人気です。

おすすめ見学コース

北九州市エコタウンセンターでエネルギーを体験しながら学習した後は、迫力満点な10基の風力発電施設や巨大な太陽光発電施設を間近で見学。他にも石油について学べる白島展示館など、響灘地区は見どころいっぱいです。

1 北九州市エコタウンセンター

見学窓口となる施設です。別館展示コーナーでは、【1:エネルギーとは? 2:エネルギーをつくる3:エネルギーをめぐる課題4:エネルギーを賢く使う 5:北九州市の先進的な取組】の5つのテーマで、体験しながら楽しく学べます。



2 響灘風力発電所 [(株)エヌエスウインドパワーひびき]

風況が良い響灘は、風力発電の適地。海岸沿いに並ぶ白い10基の風力発電施設は、北九州次世代エネルギーパークのシンボルです。風力発電の真下まで行くことができ、力強く回るその迫力に驚きます。



3 北九州市市民太陽光発電所

市制50周年記念事業の一つとして、市民公募債や寄付金で建設されました。発電により得られた収入の一部を利用して、緑化事業などの市民還元事業を実施している、全国的にも例のない公設公営のメガソーラーです。



4 白島展示館 [(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構 白島国家石油備蓄基地事務所、白島石油備蓄株式会社]

白島国家石油備蓄基地では、石油を輸入できなくなった時や、災害により国内の特定地域への石油供給が困難になった時のために、日本の石油消費量の約10日分を備蓄。白島展示館では、基地や石油について学べます。



詳しい施設情報はこちら

[事業について]

環境局地域エネルギー推進課 TEL.093-582-2238

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/>

[施設見学について]

北九州市エコタウンセンター TEL.093-752-2881

住所:北九州市若松区向洋町10-20

<http://www.kitaq-ecotown.com/enepa/>





太陽光発電 バイオマス

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

過去から未来のエネルギーを総合的に体験・学習できる地域拠点

平成21年度認定

大牟田市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要

時代をこえて
受け継がれる、
エネルギーの
まちづくり

石炭で日本の近代化をエネルギー面から支えてきた大牟田市。それを象徴する、三池炭鉱宮原坑をはじめとした「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が2015年7月、世界文化遺産に登録決定しました。大牟田市次世代エネルギーパークは、現世代エネルギーでもある石炭の歴史から、太陽光発電やバイオマス発電といった新エネルギーまで、過去から未来のエネルギーについて体験・学習できる地域拠点を目指しています。

おすすめ見学コース

大牟田市エコサックセンターで環境やリサイクルについて学んだ後、バイオマス発電の大牟田リサイクル発電所や石炭産業科学館、メガソーラー大牟田発電所を見学。過去から未来のエネルギーについて体験・学習します。

1 大牟田市エコサックセンター

環境やリサイクルについて、見て、触れて、考える体験を通じて、楽しみながら学習できる施設です。スペースシップゴミダス号に乗って、地球にやさしい暮らし方を学べます。



2 大牟田リサイクル発電所

家庭から排出される燃やすぐみを破碎、乾燥、選別、圧縮成形したRDF(ごみ固形化燃料)を焼却し、その熱を利用して発電を行うバイオマス発電施設です。



3 大牟田市石炭産業科学館

石炭を掘り出す採炭用カッターや石炭を運搬する電気機関車など、迫力ある石炭の採掘現場を体験できます。石炭・炭鉱や大牟田市の歴史を学べる施設です。



4 メガソーラー大牟田発電所

約14,000枚の太陽光パネルを使って、最大で3,000kWを発電することができます。1年間の発電電力量はおよそ320万kWhで、これは昼間の家庭用電気の2,200戸分に相当します。



詳しい施設情報はこちら

http://www.city.omuta.lg.jp/hpKiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=590&class_set_id=7&class_id=639

大牟田市産業経済部産業振興課 TEL.0944-41-2724





平成19年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



玄海町次世代エネルギーパークあすぴあ

エネルギーパーク概要



小中学生に向けた エネルギーと地域に 関する「学びの場」

玄海町次世代エネルギーパーク“あすぴあ”が目指すのは、次世代を担う子どもたちが次世代エネルギーを見て、ふれて、直接体験できる学習の場であると同時に、地域活性化をもたらす場としての機能を発揮すること。小中学生を中心とする子どもとご家族に向け、日々のエネルギーのある暮らしや、地域とのつながりに気づき、理解できる「学びの場」を創出していきます。あすぴあは、体験型の展示や双方向型のアクティビティを中心に構成。体を使って遊び、感じることで、好奇心や疑問がふくらみ、確かな学びへとつながります。

おすすめ見学コース

自然あふれる玄海町には、心と体が元気になる心地よい場所がいっぱいです。あすぴあで思う存分遊んだ後は、「玄海海上温泉パレア」や「浜野浦の棚田」などで癒しのひとときを過ごしてみませんか？

1 薬用植物栽培研究所

様々な葉や化粧品の原料として使われる薬用植物の栽培・研究の拠点として運営しています。薬用植物はその効能だけでなく花も美しく、所内の薬用植物見本園はどなたにもお楽しみいただけます。



3 玄海海上温泉パレア

仮屋湾の絶景が広がる最高のロケーションを満喫しながら、ゆったり温泉が楽しめる「パレア」。柔らかく心地よい泉質の湯は子どもからお年寄りまで安心して入浴でき、湯上がりには新鮮な海の幸に舌鼓。一日の疲れが癒されます。



2 浜野浦の棚田

日本棚田百選に選ばれた棚田。青い海から段々に駆け上がるその美しさはまさに絶景！特に春の田植期(4月中旬～5月上旬)の夕日は、あたりが黄金に染まり幻想的な世界に。ゆっくりと眺めるだけでも癒し効果抜群です。



4 ふるさと発想館

町内の主婦グループが主体となって玄海町のさまざまなおいしいものを販売する直売所。朝どれの新鮮野菜や果物はもちろん、主婦の皆さんが自由な発想でつくった愛情いっぱいの漬物や惣菜なども並びます。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.asupia.com/>

玄海町役場財政企画課 TEL.0955-52-2112
玄海町次世代エネルギーパークあすぴあ TEL.0955-51-3080



「歴史とロマンの島 平戸」で、風の力を目で見て、体で感じよう!!



平成23年度認定

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



平戸市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



国内最大の 発電規模を誇る、 風力発電のまち

本土最西端に位置し、平戸島、生月島、的山大島など約40の島と北松浦半島の一部で構成される平戸市は、かつてのキリシタン文化や多数の教会等の建造物が保存され、歴史的観光資源が豊富な地域です。海からの季節風が直接吹き付ける良好な風況条件があり、風力発電に適した場所が多く存在し、既に約40,000kWの風力発電が整備されています。自治体(直営、第三セクター)の風力発電所の発電規模(約36,000kW)は国内最大級。年間の発電電力量は、平戸市の年間消費電力量より大きく、風力発電による自給が可能なポテンシャルを有しています。

おすすめ見学コース

大航海時代に開かれた国際観光都市「西の都」として繁栄してきた、歴史とロマンの島。当時をしのぶ史跡が市内に点在し、異国情緒を漂わせる街並みと大自然の雄大で素晴らしい景観が楽しめます。

1 平戸城下旧町地区

大航海時代の城下町。山の斜面には教会の塔が高くそびえ、その麓には3つの寺院が建ち並びます。寺院と教会が重なって見える、異国文化の溶け合う街並みを散策してみませんか。



2 山頭草原

スカイブルーの橋を渡って、海と緑の風薫る生月島へ。牛が放牧されている山頭草原からは、生月島の風車群や玄界灘に浮かぶ的山大島の平戸市最大規模の風力発電所を見渡せるほか、風車と大海原に沈む夕日を楽しめます。



3 風の辻ぐるぐる公園

平戸市内で初めて設置された風車がある公園です。風車を間近で見ることができます。



4 生月町博物館 島の館

風の辻ぐるぐる公園の風車で発電した電気を利用するエコな博物館。江戸時代に日本最大規模を誇った益富捕鯨や、長い迫害に耐えて受け継がれたかくれキリシタンの信仰など、他では見られない生月の魅力に触られます。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.city.hirado.nagasaki.jp/>

平戸市文化観光商工部商工物産課 TEL.0950-22-4111





・コージェネ

太陽光発電

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

最先端の再生可能エネルギーも学べるエコテーマパーク

平成19年度認定

長崎次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



© ハウステンボス/J-17004

ハウステンボス内で
エネルギーの
「地産地消」を目指す

コージェネレーションシステムなどの見学を通じて、ハウステンボス場内でエネルギーをつくり、供給し、消費する、エネルギーの「地産地消」を体験することができます。エネルギーへの取り組みについて、実際に運営している現場を見ながら楽しく学べるのはテーマパークだからこそ。空気を汚さない太陽電池を園内各所に設置し、年間で一般家庭の約80戸分を発電しています。排気ガスと二酸化炭素を出さない電気自動車も導入するほか、天然ガスのエネルギーを有効に使うコージェネレーションシステムは、発電時の熱をお湯や暖房などに役立てています。ハウステンボスには自然に優しい工夫がいっぱいです。

おすすめ見学コース（見学は要予約）

新エネルギーや環境保全活動について実際に見たり触れたりしながら学べる、それがハウステンボスが取り組む「自然にやさしい街づくり」。入国口広場の太陽光発電システムや、場内を走る電気自動車（カートタクシー）、エネルギーロスを抑えるコージェネレーションシステムのエコ発電など、自然に優しい仕組みを知ることができます。

1 コージェネレーションシステム

エコロジーな発電「コージェネレーションシステム」で作られた電気を共同溝を通じて場内に届けています。多くの発電所では捨ててしまう熱エネルギーも無駄なく使えるのでとてもエコな発電です。※上記施設は園外にございます。（見学は要予約）

2 太陽光発電システム
（自由見学）

入国口広場にある太陽光発電システム。電気を身のまわりで作って使う、エネルギーの地産地消を学べます。



詳しい施設情報はこちら

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/kaikansangyosozu/index.html>

長崎次世代エネルギーパーク運営協議会事務局（長崎県新産業創造課）
TEL.095-895-2695（ダイヤルイン）

<http://www.huistenbosch.co.jp/>

ハウステンボス 総合案内ナビダイヤル TEL.0570-064-110



大分県次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



恵まれた再生可能エネルギーを官民一体で活用

大分県は日本一の発電規模を誇る地熱をはじめとして、豊富な森林資源を使ったバイオマス、農業用水路などを利用した小水力、太陽光、風力など、さまざまな再生可能エネルギーに恵まれています。そこで、これらの再生可能エネルギーを活用している県内の企業や自治体とネットワークを構築し、県全体を公園に見立て、エネルギーパークと位置づけています。官民が一体となって再生可能エネルギーに触れる機会を提供します。

おすすめ見学コース

地熱や水、特産品の味噌など、大分ならではの資源を活用して誕生した新しい再生可能エネルギー施設のほか、温泉の恵みを活用した「地獄蒸し」などのグルメも楽しめます。

1 大分県農林水産研究指導センター 農業研究部花きグループ発電所(湯けむり発電システム)

高温温泉の熱水と、蒸気のエネルギーを最大限に活用するトータルフロー発電方式として、全国初の実用化に成功しました。県内企業が研究開発した発電設備です。



2 五湯苑地熱発電所

大地より沸き上がる146℃の噴気をエネルギーにしてバイナリー発電機を運転。天候に関係なく、安定した発電を行うことができます。



3 小水力野畑発電所

県内初となる、民間事業者が取り組む農業用水路を使った小水力発電所。地場企業が設計・製作したプロペラ式水車を採用、3.5mという低落差での商用発電を実現しました。



4 二豊味噌協業組合バイオマス発電所

味噌製造工程からの排水を嫌気処理する際、発生するメタンガスを燃料に発電し、同時に排熱を回収するコージェネレーション装置。廃棄物の減量化とエネルギーの有効利用を両立します。



詳しい施設情報はこちら

<http://www.pref.oita.jp/soshiki/14200/enepa.html>

大分県商工労働部工業振興課 TEL.097-506-3263





太陽光発電

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



県内各地にメガソーラー施設を続々建設・計画中

平成21年度認定

くまもと次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



県を挙げて 広がり続ける、 メガソーラーへの 取り組み

熊本県では、2012年10月に熊本県総合エネルギー計画を策定し、新エネルギーの導入加速化等を行っています。その中でも、ソーラーの導入促進に早くから積極的に取り組んでおり、住宅用太陽光発電普及率は全国2位(2016年3月末)、さらに66件のメガソーラーの立地協定を締結しています(2016年11月末現在)。なお、「くまもと次世代エネルギーパーク」には、「グランメッセ熊本(益城町)」と「熊本県立菊池高等学校」があります。

おすすめ見学コース

「グランメッセ熊本」の太陽光発電をはじめ、阿蘇くまもと空港に隣接した地産地消型の「くまもと臨空メガソーラー」や長洲町の「LIXIL有明SOLAR POWER」など、県内には多くの太陽光発電が導入されています。

1 グランメッセ熊本

ソーラー関連企業や熊本大学工学部、地元ものづくり製造企業と連携し、環境に優しい太陽光発電の普及啓発と学生等に向けた教育プログラムを兼ねた広報活動をしています。

▶ <http://www.grandmesse.jp/>



2 くまもと臨空メガソーラー

阿蘇くまもと空港の北側に設置されている「くまもと臨空メガソーラー」。その設備や工事にあたっては、県内企業製品等をできる限り活用した地産地消型のメガソーラーとなっています。

▶ http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=3&class_set_id=1&class_id=1001



3 LIXIL有明SOLAR POWER

2011年1月の完成当時、国内初となる500kWのパワーコンディショナーを導入し、国内最大級となる3.75MWの発電出力を実現しました。

▶ http://www.town.nagasu.lg.jp/life/pub/Detail.aspx?c_id=70&id=757&pg=1&type=list

詳しい施設情報はこちら

http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=3&class_set_id=1&class_id=1001

商工観光労働部新産業振興局エネルギー政策課
TEL.096-333-2320



再生可能エネルギーに恵まれた日本のひなた「太陽と緑の国みやざき」



平成25年度認定

宮崎県次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

エネルギーパーク概要



宮崎ソーラーウェイ(都農町)



中国木材バイオマス発電所(日向工場)

再エネと産業、
観光資源を融合し、
地域特性をアピール

日照条件や降水量、木材・肉用牛・豚・ブロイラーの生産量が全国トップクラスで、豊富な再生可能エネルギー資源に恵まれる「日本のひなた「太陽と緑の国みやざき」」。再生可能エネルギーと地元の農畜産業・林業・食産業等を融合させた見学・体験メニューを組み立て、実際に見て、触れることを通して、県内各地の地域特性について認識できる次世代エネルギーパークを形成していきます。中心施設である宮崎県環境情報センターを窓口として、次世代エネルギーパークや県内の環境に関する情報等を発信していきます。

おすすめ見学コース

「日本のひなた」である宮崎を象徴する太陽光や太陽熱を利用した大規模な研究施設、焼酎粕や芋くずを再利用したバイオガス発電など、さまざまな種類のエネルギー施設が見学できるコースです。

1 宮崎県環境情報センター(宮崎市:県立図書館内)

次世代エネルギーパークの中心施設かつ見学の申込窓口です。宮崎県における環境教育の拠点施設で、環境情報の収集・発信、相談窓口として、職員が常駐し、子どもから大人まで幅広い県民に活用されています。



2 宮崎大学(ビームダウン式太陽集光装置)

88基の追尾式反射鏡(1基あたり10枚の凹面反射鏡)から高さ16mの中央タワー上部の楕円鏡に太陽光を集め、下へ向かって反射させる国内最大級のビームダウン式太陽集光装置で、約1,400℃の高温になります。



3 宮崎大学(集光型太陽光発電システム)

通常の太陽光発電では利用しない光も集めるため、小さな発電セルをプラスチックレンズで覆って光を集めるとともに、常に最適な角度で太陽を追尾する仕組みで発電効率を上げている国内最大級の集光型システムです。



4 霧島酒造株式会社焼酎粕リサイクルプラントおよび発電施設

焼酎生産工程から発生する焼酎粕・芋くずをメタン発酵させ、1日に約30,000㎡発生するバイオガスを回収して、焼酎製造用のボイラー燃料と発電の燃料として利用している施設です。



詳しい施設情報はこちら

http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/earth_warm/enepark/

宮崎県環境情報センター TEL.0985-23-0322



次世代エネルギーをベースとした環境維新によるまちづくりと食文化



平成24年度認定

いちき串木野次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



エネルギーパーク概要



次世代エネルギーと「食」を組み合わせ、地域文化からエコを発信

「次世代エネルギーをベースとした環境維新によるまちづくりと食文化」をテーマに、焼酎・さつま揚げなど食の街を支えてきた西薩中核工業団地の企業が連携。企業経営に再生可能エネルギーを取り入れながら、スマートコミュニティへの展開と、環境負荷日本最小の工業団地を目指します。また、エネルギーの過去・現在・未来がギュッと集まった工業団地を核に、地域の食文化と次世代エネルギーの融合を体験できるエコツアーをご提案。地域文化発信型のエネパとして、食と環境のつながりの大切さを共感していただけるおもてなしに取り組みます。

おすすめ見学コース

2013年度新エネ大賞の「経済産業大臣賞」を受賞した合同会社さつま自然エネルギーによる、持続可能な食とエネルギーの産業化を目指す環境維新のまちづくりをご案内します。



1 西薩中核工業団地

さつま揚げ・焼酎などの地場企業が、「環境維新のまちづくりと食文化」をテーマに次世代エネルギーを取り入れた企業経営を推進。100%再生可能エネルギーによる日本一環境負荷の小さい工業団地を目指しています。

2 ちかび展示館

日本の原油使用料3日分の原油175万klを地下岩盤タンクに貯蔵する、串木野国家石油備蓄基地。その仕組みがわかる展示館です。



3 薩摩藩英国留学生記念館

1865年、鎖国中の幕末に決死の覚悟で英国に渡り、持ち帰った先進的な制度や機械によって近代日本の礎を築いた薩摩藩留学生を顕彰する記念館。日本初の水力発電を機庭園に設置した、電気のあるさつでもあります。



4 串木野れいめい風力発電所

2000kW×10基の風力発電所。風車の間を縫うように山沿いを走るドライブルートの景観は圧巻。隣接の薩摩川内市にある川内原子力発電所展示館まで足をのばしてはいかが。



詳しい施設情報は**こちら**

<http://www.city.ichikikushikino.lg.jp/>
いちき串木野市政策課 TEL.0996-33-5628

.....

<http://www.satsuma-ne.co.jp/>
合同会社さつま自然エネルギー TEL.0996-33-1510

009 地方別エネパ紹介 沖縄地方

▶見たいエネパをクリック！



P77 糸満市次世代エネルギーパーク



P78 宮古島次世代エネルギーパーク



糸満市まるごとスマート化—市庁舎と観光農園を拠点にecoなまちを推進します!—



太陽光発電 風力発電

エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード

平成21年度認定

糸満市次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



市庁舎と観光農園を 拠点に散策型 周遊コースを開発

糸満市庁舎の太陽光発電と糸満市観光農園の風力発電を拠点に、市内全域をエネパとして周遊コースを開発しています。「糸満市庁舎」は、世界に発信する21世紀型環境建築として、195.6kWの太陽光発電システム設置。日除けルーバーを一体化し、沖縄独特の強い日差しを遮ることで省エネ化に貢献するなど、地域特性に配慮しながら稼働中です。「糸満市観光農園」は、農業・観光振興を目的とするテーマパーク。風力発電施設は、園内の補助電源として利用されているほか、施設の入り口にあることから、シンボリックな存在となっています。

おすすめ見学コース

市庁舎の太陽光発電システムと観光農園の風力発電施設を拠点に、再生可能エネルギーについて学べます。日本最南端で県内最大規模の「道の駅いとまん」では、糸満市“ならでは”のグルメや特産品をお楽しみください。

1 糸満市庁舎

市庁舎の南面と屋上面に発電・日除け・採光を兼用する容量195.6kWの太陽光発電システム。遮蔽効果による冷房負荷削減に優れる上、インパクトのある意匠は、PR効果が期待できます。また、庁舎1階市民ホールに設置されたモニターでは、糸満市のエネルギーの取り組みについて学べます。



2 糸満市観光農園

糸満市観光農園は、農業・観光振興を目的とするテーマパークです。本島最南端の海岸線を見渡すことができるほか、ジャパンワインチャレンジ2016のフルーツワイン部門で世界最高金賞を受賞したマンゴーワインも購入できます。



3 道の駅いとまん

観光情報を発信する「情報案内カウンター」や、特産品が買える「糸満市物産センター遊食来(ゆくら)」など、観光客に嬉しい施設が充実。「ファーマーズマーケットいとまん」や「お魚センター」には、地元の人たちが安くて良い商品を集めるため、観光客と地元の人が行き交うにぎやかな場所となっています。

詳しい施設情報はこちら

<http://www.city.itoman.lg.jp/>

糸満市庁舎(総務部総務課) TEL.098-840-8113

糸満市観光農園(経済観光部商工観光課) TEL.098-840-8135



島全体で体感する再生可能エネルギーのテーマパーク



エネルギーパーク
全体計画書ダウンロード



平成21年度認定

宮古島次世代エネルギーパーク

エネルギーパーク概要



貴重な水資源を 循環社会・再生可能 エネルギーで守る

宮古島には太陽光発電や風力発電、バガスやメタンの利用などさまざまな再生可能エネルギー施設が点在しています。また、基幹作物のサトウキビのほか、マンゴーや島野菜などの農作物は、地下ダムのおかげで水不足の心配も減りました。その地下水を守るため、循環型社会の構築やエネルギーの地産地消への取り組みも盛ん。「見て」「触れて」「学ぶ」をキーワードに、島全体を「次世代エネルギーパーク」として位置づけ、観光で訪れた方々にも、宮古島の青い海や青い空を後世に残すためのさまざまな取り組みに触れていただくことができます。

おすすめ見学コース

バイオマス関係や再生可能エネルギー関係など、島内に点在するエコ施設や実証事業などを解りやすくご紹介する宮古島市エコアイランドPR館(愛称:エコパーク宮古)を拠点としたエコツアーがおすすめ。



1 エコパーク宮古

エコツアーの拠点施設となる、宮古島市エコアイランドPR館(愛称:エコパーク宮古)は、エコアイランド宮古島がスタートした概要や島内のエコ施設、エコな取り組みなどを映像やパネルを使って紹介しております。

2 バイオエタノール製造施設

バイオマス利用のため、島の基幹作物であるサトウキビの糖蜜を利用したバイオエタノールの製造や残渣液での液肥開発等、サトウキビの循環システム構築を目指しています。



3 地下ダム資料館

水なし農業からの脱却を成し遂げた宮古島。その根源となったのが地下ダムです。エコアイランド宮古島の取り組みも、水を守ることにより自然環境への負荷を減らし、住み良い島を未来へ残すことからスタートしました。



4 メガソーラー展望台

広大な敷地に敷き詰められた太陽電池を一望。説明板によりメガソーラー実証研究施設の研究内容、設備規模など、沖縄電力が取り組んでいる再生可能エネルギー利用への理解を深めることができます。

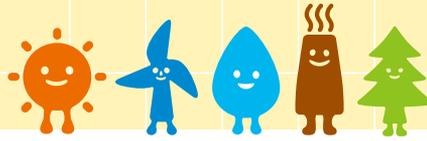


詳しい施設情報はこちら

<http://www.city.miyakojima.lg.jp/gyosei/ecoisland/index.html>

宮古島市役所企画政策部エコアイランド推進課 TEL.0980-73-0950





再生可能エネルギー導入促進についてのお問い合わせ窓口

経済産業省資源エネルギー庁 新エネルギー課 再生可能エネルギー推進室

〒100-8901 東京都千代田区霞が関1-3-1

 **03-3501-1511** (内線 4455)

なっとく! 再生可能エネルギー

http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/index.html

北海道

北海道経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒060-0808 札幌市北区北8条西2-1-1 札幌第1合同庁舎

 **011-709-2311**
(内線2638)

青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県

東北経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒980-8403 仙台市青葉区本町3-3-1

 **022-221-4932**

茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県・長野県・新潟県・静岡県

関東経済産業局 資源エネルギー環境部 新エネルギー対策課
〒330-9715 さいたま市中央区新都心1-1 合同庁舎1号館

 **048-600-0361**

富山県・石川県・岐阜県・愛知県・三重県

中部経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒460-8510 名古屋市中区三の丸2-5-2

 **052-951-2775**

福井県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

近畿経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒540-8535 大阪市中央区大手前1-5-44

 **06-6966-6043**

鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県

中国経済産業局 資源エネルギー環境部 新エネルギー対策室
〒730-8531 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎2号館

 **082-224-5818**

徳島県・香川県・愛媛県・高知県

四国経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒760-8512 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎

 **087-811-8535**

福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県

九州経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課
〒812-8546 福岡市博多区博多駅東2-11-1

 **092-482-5475**

沖縄県

内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 エネルギー対策課
〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち2-1-1 那覇第二地方合同庁舎2号館

 **098-866-1759**

日本をグリーンのかでうごかさう

**Green
power**

グリーンパワープロジェクトは、経済産業省資源エネルギー庁が中心となって、国と民間が協力して再生可能エネルギーを広げていくプロジェクトです。再生可能エネルギーを自分ゴト化するために、基本的な知識を楽しく学ぶためのイベントや、事業する人を育てる場作りなどを推進。日本全体で大きな国民運動に育てていくことを目指しています。